



熱血湧きア 血は躍る

岩手山頂上で応援歌＝2012年7月20日、校内行事「岩手山登山」でのひとこま



同窓会報

第45号

発行 宮城県仙台第二高等学校
同窓会
印刷 仙台市青葉区川内瀬橋通一
創文印刷出版株式会社
☎ 二二一一五六五一(直通)
仙台市青葉区春日町八番三四号

目次

巻頭言	2
PTA・同窓会合同新年懇親会案内	2
支部・同期会・クラブOB会報告	3
大震災に立ち向かう	10
会員近況	15
叙勲、寄贈本	18
応援歌探訪	19
会報発行の年1回化、A4判化のお知らせ	20
年会費納入促進のお願い	20
年会費納入状況、年会費納入方法	21
当番回期について、当番幹事打ち合わせ会	22
臨時総会報告	22
総会報告、北陵祭に初の同窓会ブース	23
評議員会報告、理事会報告	24
校内環境整備基金について、寄付者名簿	25
部活動の成果	26
現役生寄稿	32
計報、交通の便、編集後記	34

卷頭言

同窓会、現状認識

会長 大井 龍司（高10回）



私事、母校の同窓会長をお引き受けしてからほぼ十ヶ月が経過しました。その間些か沈滞傾向であることを否めない同窓会をなんとか活性化しようと副会長、理事各位と知恵を絞つて、新企画を策定、それらを評議員ながら実行に移してきました。会員各位には、同窓会の現状を知っていたことも大切かと考え、巻頭言としては些か格調を欠くきらいを否めませんが、本会報では、会長としての「同窓会の現状認識」にのみ言及することをお許しいただきます。

さてこの十ヶ月間で同窓会のいろいろなことが見えてきました。まず流石は仙台二高の同窓会であると高く評価できる点は、宮城県内外各地の支部会が活発に開催されてい

ることです。私はこれまで関西、岩手、在京（十一月には東海）の支部会にお招きいただき参會しましたが、むしろ仙台を離れているからこそ、各地の同窓生諸氏の母校への想いが強いことを肌で感じました。その他種々の職場の同窓会、クラブ同窓会など、同窓生の親睦の場が数多くもたれており、同窓生の「縦の繋がり」が確実に保たれていることにおおいに感激し力強く感じた次第です。加えて地元の北陵会、東京北社会など、世話役の方々の尽力に依り、ながら実行に移してきました。

しかし残念なことには、むしろ問題点が山積していると云わざるを得ません。一例を挙げれば「同窓会報発刊・送付数と会費納入率との乖離」の問題です。従来会報を年二回発刊し、約一万六千人の会員に送付、その費用が合わせず、振込んでいただけた

ところです。私はこれまで関西、岩手、在京（十一月には東海）の支部会にお招きいただき参會しましたが、むしろ仙台を離れているからこそ、各地の同窓生諸氏の母校への想いが強いことを肌で感じました。その他種々の職場の同窓会、クラブ同窓会など、同窓生の親睦の場が数多くもたれており、同窓生の「縦の繋がり」が確実に保たれていることにおおいに感激し力強く感じた次第です。加えて地元の北陵会、東京北社会など、世話役の方々の尽力に依り、ながら実行に移してきました。

しかし残念なことには、むしろ問題点が山積していると云わざるを得ません。一例を挙げれば「同窓会報発刊・送付数と会費納入率との乖離」の問題です。従来会報を年二回発刊し、約一万六千人の会員に送付、その費用が合わせず、振込んでいただけた

PTA・同窓会合同新年懇親会開催のお知らせ

日時：平成25年1月25日（金）

会場：江陽グランドホテル
<地下鉄広瀬通駅下車
西一番出口徒歩0分>

[講演会] 18時 鶯鶯の間

ゲストスピーカー

サッポロビール

CEO上條 努氏(高24回)

[懇親会] 19時 孔雀の間

会費：5,000円（予定）

奮ってご参加ください。参加希望者は12月21日（金）まで、同封の申し込み用紙でFAX送信、または電話、Eメールで同窓会事務室までご連絡ください。

同窓会事務室 FAX 022-221-5686

電話 022-221-5651

Eメール qqnt4329@wonder.ocn.ne.jp

貴重な年会費の約六〇%が広報発刊・発送に費やされてしまうのもかわらず、会費納入率は上がらないという状況です。しかも私が以前からの会報にひととおり目を通したところ、年二回発刊しなければならない理由は決して見当たりませんでした。ということでありました。そこで理事会としましては、評議員会、総会の承認を得て、来年からは「年一回発刊、B5判からA4判に、それを仙台二高の同窓会報として恥ずかしくないものに」ということに変更します。一方、タイムリーな情報はHPを充実させ、また仙台二高同窓会マーリングリストを立ち上げましたので、それらにて提供したいと考えています。ただ会費納入振込用紙も、次年度からは、年一回の送付になりますので、それがお手元に届き次第、忘れず振込んでいただきたいたいと思います。

さらには「入るを計りて出づるを制す」で、今後同窓会報（with会費納入振込用紙）は、希望されない方には送付しない

いようにしたいと考えています。会費収支上で効果が挙がれば、それを同窓会活性化、同窓会員へのサービス向上、さらには母校の支援にと有効利用させていただく所存です。

してはこのシステムが機能しておらず、さらには同窓会運営上の中心となるべき各評議員、常任委員が欠落している回期の同窓会活性化のためにじく地元同窓会総会会員者数の減少も大きな問題です。この点は若い世代の同窓会への参加者を増やすことによって、先輩諸兄の意識にも変化が生じるものと期待しています。もう一点、大きな問題点は、当番回期制の不徹底です。当番回期とは「当年還暦を迎える回期を筆頭にして、以下干支一回りずつ合計三回期と翌年干支を迎える若干二回期かかる」もので、夏の総会、冬のPTA・同窓会合同懇親会は、それらの回期が責任を持つて企画・運営することになっているはずですが、最近で

はこのシステムが機能しておらず、さらには同窓会運営上の中心となるべき各評議員、常任委員が欠落している回期の同窓会活性化のためにじく地元同窓会総会会員者数の減少も大きな問題です。この点は若い世代の同窓会への参加者を増やすことによって、先輩諸兄の意識にも変化が生じるものと期待しています。もう一点、大きな問題点は、当番回期制の不徹底です。当番回期とは「当年還暦を迎える回期を筆頭にして、以下干支一回りずつ合計三回期と翌年干支を迎える若干二回期かかる」もので、夏の総会、冬のPTA・同窓会合同懇親会は、それらの回期が責任を持つて企画・運営することになっているはずですが、最近で

はこのシステムが機能しておらず、さらには同窓会運営上の中心となるべき各評議員、常任委員が欠落している回期の同窓会活性化のためにじく地元同窓会総会会員者数の減少も大きな問題です。この点は若い世代の同窓会への参加者を増やすことによって、先輩諸兄の意識にも変化が生じるものと期待しています。もう一点、大きな問題点は、当番回期制の不徹底です。当番回期とは「当年還暦を迎える回期を筆頭にして、以下干支一回りずつ合計三回期と翌年干支を迎える若干二回期かかる」もので、夏の総会、冬のPTA・同窓会合同懇親会は、それらの回期が責任を持つて企画・運営することになっているはずですが、最近で

はこのシステムが機能しておらず、さらには同窓会運営上の中心となるべき各評議員、常任委員が欠落している回期の同窓会活性化のためにじく地元同窓会総会会員者数の減少も大きな問題です。この点は若い世代の同窓会への参加者を増やすことによって、先輩諸兄の意識にも変化が生じるものと期待しています。もう一点、大きな問題点は、当番回期制の不徹底です。当番回期とは「当年還暦を迎える回期を筆頭にして、以下干支一回りずつ合計三回期と翌年干支を迎える若干二回期かかる」もので、夏の総会、冬のPTA・同窓会合同懇親会は、それらの回期が責任を持つて企画・運営することになっているはずですが、最近で

支部・同期会・クラブOB会報告

福島北陵会

彼は多くの職場に声を掛け、直接訪れて百名近い同窓生の名簿を作成しました。そして彼には定年退職後も引き続き本会の継続に並々ならぬ努力をいただいております。

本会の初代会長は故遠藤辰一郎先生、二代目は柴拓先生（中40回）、三代目が阿部力哉で現在に至っています。奇しくも三人とも東北大の同じ研究室の先輩、後輩の外科医です。

私は昭和六十年に福島医大に赴任して以来、本会には欠かさず出席していますが、当時は三十人ほどの出席者がありました。しかし、日本経済の下降に伴うように、参加者が年々減少の一途を辿っています。今年は僅か十四人の出席でした。今では中学出身の方々の出席はなく、高校3回卒の我々が最高齢となってしまっています。しかも毎回出席者は殆ど固定化され、新規に参加する人は殆どありません。福島北陵会は冒頭に述べた二中、二高会県北支部会と

名付けられた通り、福島県全域に亘るものではないこと（遠方の地域の同窓生を除外しているわけではない）や、若い世代の人達の動静を知ることができない（特に個人情報保護条例以後）などが主な原因ではないかと考えられます。

そこで何とか参加者を増やせないかと、暮れの北陵会を郡山市の大場周造氏（高3回）が建設、経営している郡山市内のホテル・バーデンで、夫人同伴、一泊で行うことを企画しました。このホテル内には湯の量が豊富な大きな源泉があり、十分に温泉気分を楽しめます。宴会後のカラオケは深夜に及ぶのが通例で既に参加者の増加には繋がっていないのが残念です。

以上福島北陵会について、概略を記しましたが、これらの会の拡大のみならず、その継続さえも悲観的な現状と言わざるを得ません。何とか努力を続けたいと思つています。



仙台二高同窓会 岩沼支部

起人並びに歴代会長は母校に思いを寄せる同窓生相互の親睦を図り、母校の発展に寄与したいと切望しておりました。私も五代目会長として、その意思を継いで、後輩に歴代会長の思いを伝統として伝えていきたいと考えているところであります。

発足当時は会員八十三名でありますましたが、昭和五十三年春実施の学区制により岩沼からの入学はできなくなりましたので、現在は案内に返信して戴ける方は四十五名と少なくなってしましました。岩沼会としては非常に残念な思いで学区制の廃止を熱望して参りました。

幸い平成二十二年春から学区制が廃止となり岩沼からの入学が可能となりましたので、三十三年ぶりの同窓生の誕生に感無量の思いで歓声をあげたい衝動に駆られたものでした。

学区制が廃止になる兆しがありましたので、本会も平成二十年六月二十日開催の総会

すが、本稿をご覧になつた短島県在住の同窓生の方々に奮つてご参加下さるようご連絡をお願い致します。

回)、四代目会長大友英雄(高4回)と諸先輩が務められ、毎年定例の総会を開催し親睦を深めて参りました。発

区制が廃止となり岩沼からの入学が可能となりましたので、三十三年ぶりの同窓生の誕生に感無量の思いで歓声をあげたい衝動に駆られたものでした。幸い平成二十一年春から学区制が廃止になる兆しがありましたので、本会も平成二十年六月二十日開催の総会

に於いて旧仙台二中・仙台一高同窓会岩沼会の名称を仙台二高同窓会・岩沼支部と変更致しております。

去る六月十六日（土）には

二十八回目の総会を開催し、高3回から高41回までの卒業生三十名が一堂に会し、円滑な議事の進行後懇親会も時間の経過を忘れる位意気投合し、酌み交す酒もかなりの量になりました。

総会参加者は二十名であり一年ぶりの同窓生の再会を

ますので、ご紹介申し上げま

す。

敬称略

松岡謙太郎（高3回）・大友

英雄（高4回）・本郷兵雄

（高6回）・佐野崇（高7回）・

只野克昭（高8回）・半沢勝

正（高8回）・渡辺光一（高

9回）・四倉政美（高10回）・

高澤廣人（高12回）・鬼澤春

美（高12回）・小泉純一（高

16回）・横尾一正（高18回）・

芳賀盛（高18回）・国井真一

（高21回）・郷内武（高21回）・

大友莊市郎（高21回）・三浦

隆夫（高22回）・芹沢良隆

（高23回）・桃野広志（高23回）・

名久井実（高41回）

参加者の近況報告では、ゴルフ（パーク含む）・ハイキ

ング（山登り含む）等、自己の健康管理に力をいれている人が多くおりましたが、団碁爱好者も数人居りました。

同窓会報（本年春季号）と

同封の追加案内で同窓生親睦ゴルフ大会の企画を知りました。同窓生にはゴルフ爱好者はかなり多いと思いますが、団碁においても全日本学生名

人戦優勝（全国制覇）他、仙

台では数々のタイトルを手に

したアマトップクラスの同窓

生を筆頭にかなりの爱好者が

おられると思っております。

同窓生と在校生も参加できる

親善団碁大会を企画してはどうでしょうか。是非ご検討下

さいます様御願い申し上げま

す。同窓会運営の活性化に寄

与できればと思うところでも

あります。ちなみに高10回卒

の三三会では、毎年故高橋清

久先生を囲んで団碁大会を十

数名で平成三年より続けて実

施してまいりました。団碁仲

間は皆再会を楽しみにしてお

りますので、今後も高清先生

を偲んで続けてゆきたいと思つ

ております。

以上、岩沼支部総会の報告

と活性化に繋がる提案を申し上げます。今回の総会で役員

改選がありましたので、新しい役員名簿と岩沼支部総会懇

親会での近況報告の一場面の写真を添付致しました。

最後に大井龍司会長の就任

にエールを贈り、仙台二高同

窓会の益々の発展を祈念申し

上げます。

黒川北陵会

大友 正隆（高16回）

当会は、黒川郡内、大和町・

大郷町・大衡村・富谷町の三

町一村の出身者・在住者を構

成員としております。名簿上

は百人程度いますが、いわゆる常連を中心には、年二回、

前までの活動は年一回の総会・

懇親会を行っておりましたが、現

次々と会員の逝去が続き、現

在では五名のみとなっており

ます。新会員の入会もなくさ

びしい限りです。それという

のも我々の子弟を母校受験さ

せるとも出来ない制度上の

問題にあつたと思われます。

近年やつと学区制廃止になり

ましたが、時すでに遅しの感

があります。地方では次なる

入会者があるのは孫の世代と

なりそうです。

以上の様なわけで、ここ十

年間は、同窓会は休会状態で

あり報告できるものもなく大

変残念な思いです。

今回の原稿依頼に対しお答

えできず申しわけございません。皆様の御活躍をお祈り申します。



黒川北陵会塚本健治会長瑞宝双光章受章祝賀会 平成15年11月22日

連絡先

事務局 土居和彦（高25回）
電話 022-345-2222

北海道支部

若生幸一郎（中43回）

「新しい旅立ちへ」

旧仙台二中・仙台二高北海道同窓会の集まりは、今からちょうど三十年前、昭和五十七年一月二十二日、その頃仙台から新しく北海道にホテル展開を始めたばかりの関光策氏（高9回）経営の、ホテルアルファ・サッポロでスタートしました。

その時の同窓会員は、登録総数百八十二名（中五十二名、高百三十名）の大人数で、こ

んなにも大勢北海道に仲間がいるのか……と驚き、喜び、そして頼もしい思いでした。

平成に入り在籍は百十名となり、あの昭和二十二年の甲子園大会でわれわれと全国児童を沸かした二階堂正氏（高2回）なども札幌勤務で加わり、大いに盛り上がりました。平成七年三月、氏が転勤で札幌を去られることになった時は、会員の夫人も同伴出席の花見をしながら二階堂正



平成13年8月8日 於ベイゴルフ場

写真のように有志で、サンクレラ杯で名だたるプロ選手を悩ませた難関ベイゴルフ場で腕を競い、楽しい一時を過ごすこともありました。

その後、社会情勢・交通手段・会員老齢化などの情況変化で、集まりも十人を割るようになり、気がついたら最近は連絡も疎遠になっています。正確な会員数は把握していない、現存中学二十名、高校四十名、計六十名前後と思いますが、これまでを振り返ると寂しい限りです。

改めて考へると、最近話題

在京同窓会

赤井澤勝己（高23回）

北大の現況について」と題した講話、奥山同窓会事務局長の「震災後の本校の歩みについて」の映像を交えての話、元在京同窓会会长の山川民夫氏（中39回）の乾杯の音頭で懇親会、総合司会は、今回初試みで大学生の米田まりな氏（高62回）が務めました。前回返は、佐藤隆輔在京同窓会会長（元NHKアナウンサー）に長年お願いしていました。

木村義満氏（高14回）のサックス演奏に続き飛び入り参加の丸山泰雄氏（高35回）がチエロの演奏を披露、佐々美喜男氏（高27回）がお弟子さん二

名と共に粋な新内流し、場の雰囲気が大いに盛り上りりました。大井龍司同窓会会长



盛大に開催された在京同窓会

今年七月で三百回を迎えた「北杜会」について鈴木壯夫氏（高11回）より説明がありました。「北杜会」が益々発展することを願っています。宴会最後は恒例の応援歌。門真和明総務委員長（高25回）の号令のもと「勝利の歌」「凱歌」「雨か風か」を声高らかに歌い上げ、仙台二高及び熊本高校とのエールを交換し、再会を約束して終了しました。渡邊校長、奥山事務局長、大井龍司同窓会会长の他、庄司恒一前校長（高22回）、熊本高校東京江原会の役員三名の方々にも来賓として参加頂きました。

今回の開催に当たり役員会及び学年幹事会を開催し、若い同窓生の掘り起こしをテーマに議論、試行錯誤しながらの総会準備でした。また総会案内は、中39回～高14回は、往復はがき、高15回～高64回は、はがきで案内し、出欠の返事をメールで事務局宛てに頂く方式を取り入れました。将来はメールでの案内を主流にしたいと考えております。

また毎日新聞、読売新聞、河北新報へ総会の案内を掲載しました。Facebookやツイッ



(写真 左から) 藤原範典氏(高17)、
大井会長、渡辺校長、仁田和廣氏(高21)、
若生正博副知事(高21)

宮城県庁養賢会

関 裕介（高38回）

宮城県庁養賢会

陸町震災復興企業の物産展を催し完売。雄勝で被災地支援をしている「オーガツツ」の会として、参加申し込みをしました。当日は河北新報の取材が入り、十月六日の朝刊21面に総会の模様が掲載されました。今後は、同窓会本会との連携を、より綿密にしながら活動したいと考えております。

タ一等で頻繁に呼びかけをし、
大学生二十一名の参加。南三

昭和26年卒首都圏同期会

が、渡邊校長からは、二高生の活躍状況等の報告がありました。最後は恒例の応援歌・校歌を齐唱し、盛会の内に閉会となりました。

仙台など圈外から四人の参加もあって、二十五人が集まつた。近況報告やら懐旧談で明るく楽しい会であった。

北陵四期

武田 弘（高4回）

会報拝受致しました。中に
我々より一年先輩の方々（高
3回）が傘寿のお祝いで集ま
られた際の写真が有りました。
が、我々高校第4回卒業の仲
間も、五月二十日に同じく傘

術団体の系譜と位置付けなどさらには美術鑑賞の仕方などについて、要領のいい解説をしてくれた。



東京第一ホテル・新橋アンシャンテ
平成24年10月16日

論の事、近県在住の方々、更に首都圏や関西中部地区からの方々の他、遠くは山口県とあります。り見えた人にも及び、健康の面で奥様同伴で見えた方等も有り、合わせて六十九名になりました。

既に三分の一近い方が、宣
界入りをされ、更に四十三名
もの消息不明の方々が有りま
す。

た事になり、卒業時三百名を越える人數だったのが、現在では

台近郊の秋保温泉で集まりを持つたばかりだった員で撮った記念写真をお届けして、ご報告を致します。

振り返って見れば母校を卒業したのが、昭和二十七年（一九五二年）三月で



北陸四期会祝賀会 秋保温泉「ホテル瑞鳳」 平成24年5月20日

三三会

山田 哲義（高10回）

「懇親会」

三三会は昭和三十三年三月に卒業した同期生のグループで、ほぼ毎年懇親会を開催しています。会員は全国に散らばっている関係で懇親会は東京・名古屋・仙台で開催されています。東京三三会は十一月に開催されます。

仙台三二会は十月十四日
(日)、グラザー軒で開催し閑
東方面からも多数参加され四
十七名の参加でした。残念な
ことは、今年は健康上の理由
から恩師は一人も参加されな
かったです。

校歌齊唱に續き 物故者
(恩師一名、同期生四名)へ
黙祷を捧げました。乾杯に續
き同期生諸氏の近況報告等が
ありました。同期生の大井龍
司同窓会長から同窓会の現状
報告があり、同期生一同会長
を支援していくこととなりま
した。

18期同期会（一八会）

熊谷嘉穂（高18回）

「總會頭目」

ザ・ベビーブームの坊や達
がなんと六十五歳になり、平
成二十四年八月十四日（火）
午後六時三十分から、18期同
期会総会が江陽グランドホテ
ルで始まりました。

故人を偲んでの黙祷はさすがにしんみりと敬虔な態をなしていましたが、三つ子の魂百までの例え通り、乾杯が終



声高らかに歌声を響かせた三三会

わった途端、私語の嵐。息子の小学生時代の教室が再現したかのように、白髪にロマンスグレーにハゲに臘月夜のボク達が、各テーブルで呑みまくり・しゃべりまくりそして徘徊する状態が続きました。クラス紹介の場面では、登場者が意気揚々と話す一方、後ろで待っている連中はああでもないこうでもないと盛り上がり、またテーブルを見る所、ちらりちらりと壇上を眺めながら、こちらもひたすらしゃべって呑んで食つて盛り上がり、またテーブルを見た。

こんななんだかないと、司会者は一人冷静に、かつこの情景を見て感慨深いものがありました。

こんなんではナガッタ一瞬がありました。思い起せば二十年近く前、浅野史郎君が知事選に臨んだ時、この訳の解からん後期高齢の侍機者達が、あの堀田康哉先生（当時の同窓会長）に、「おまえ達がやっていることは、9回裏・3対0のツーダウン、ピンチヒッター出して逆転サヨナラしようつて騒いでることだぞ。」また、ある先輩には「全くの



—八期会同期会

柔道部

鈴木亮一（高23回）

「追悼」の23・24回卒の集(1)

会員の方に
申し上げます。

「神ヶ根温泉」——ここは23回

同期は、半沢、関、私の四名。大平君は御母堂の御不幸があり、大町（佐藤）雅俊君は、なんと、心筋梗塞で入院したとの事で欠席。

24回卒は、安藤、大島、小口、今野、斎藤、長南君の六名、さらに25回卒の桜井君が、津波被災地の閑上から参加し、

同窓会報

当日出席叶わぬが協賛金協力者として四十八名の参加もあり、盛大な会として成功裏に終えることができました。創部記念事業の趣旨説明をさせていただきました。開会宣言の後、私（実行委員長）から創部記念事業の趣旨説明をさせていただきました。次いで、渡邊校長先生からご来賓を代表してご挨拶を頂戴し、出席された歴代顧問の先生方には、懇切なるご指導に対し謝意を込めて記念品を贈呈しました。物故者黙祷の後、庄司前校長による軽妙なスピーチと乾杯で祝宴は賑々しくスタートしました。テーブルスピーチでは、各年代に通じている最年長の私が、部活動に明け暮れたあの時に想いを馳せるキッカケになればと、出席者の部活動に関わるエピソードを紹介しました。皆が青年期に戻り、終始和やかな懇談が続く中、校歌齊唱、閉会へと進みました。



成功裏に終えた記念懇親会

「記念招待試合」は、五月二十日、仙台二高体育馆に於いて、部行事として実施されました。招待校は歴史・伝統及び学校の実情がよく似ている山形県立山形東高等学校と生や山形東高校出身の旧顧問長岡潤一先生が激励に駆けつけてください、熱戦が繰り広げられました。試合結果は仙台二中・仙台二高八十年史、百年史の資料の中に、仙台二中学友会の活動状況が記載されていることを見出し、昭和十六年五月に部の新設が承認されであることを知り得ました。これを拠り所として創部の起點を確認したのであります。

○創部の起点
創部の起點については、仙台二中・仙台二高八十年史、百年史の資料の中に、仙台二中学友会の活動状況が記載されています。これを拠り所として創部の起點を確認したのであります。

○部活動の歴史
以下、籠球部の部活動の歴史を若干紐解いてみます。翌十七年には県大会三位の成績を挙げており、かなり努力・精進して活躍したものと察せられます。

その後、太平洋戦争の激化により、学友会活動の制限が生じ対外試合の禁止等、部活動は縮小しました。学友会の各部は、報国團に組織化され、籠球部は鍛錬部編入の上、団體活動に専念することとなりました。軍事体制の支配下に置かれ、軍需業務に携わったのです。

閉会にあたり、仙台二高バスケットボール部北陵会の佐藤宣男会長より、大震災時に東京支部から三十万円の義援金が寄せられ、学校当局、バスケットボール部、河北新報社へそれぞれ十万円ずつ支援

台二高が95対79で勝ちました。試合後、北陵館に於いて昼食会を兼ねた交歓会を実施し、両校の部員とも胸襟を開いた懇談をしておりました。今後においても相互に切磋琢磨をすることを約束するなど、有意義な時を過ごしたようでした。

○記念招待試合
昭和二十三年、食糧配給制度が確立し、部活動も徐々に復活し始め、籠球部も校庭西側に初めてコートを作り練習が可能になりました。しかし、コートには砂利が多くあったので、砂利を取り除き石口一ラーカーをかけながらの練習でした。また、数少ないボールの保持・保管に意を込めるなど、苦労は尽きませんでした。現在では考えられない状況です。

○コートの変遷
屋内競技の籠球部としては、コート設備が常に課題であり、学校側に要望した結果、昭和二十五年一月旧校舎西側小校舎の二階（現在の図書館）柔道場・剣道場を改装して狭小ながらも体育館が整いました。昭和四十二年校舎を隔てた道路の南側に二面コートを持つ三十三勝二十九敗です。

参考までに七十年の間、全国大会九回出場し、昭和六年三年全国四位、昭和三十八年五位の成績も残っております。因みに対一高定期線は本年度で三十三勝二十九敗です。（「籠球部」の表示は、昭和三十四年から「バスケットボール部」に名称変更になってい

北社会

鈴木 壮夫（高11回）

「祝三百回」

一九七五年（二〇一一年）



300回を迎えた北社会で講演する青山史朗氏

仙台一高、東京同窓会の懇話会「北社会」は一九七五年、在京同窓会の再建に合わせ青山史朗先輩（中40回）が名簿を見て、綺羅星のごとく並み居たる優秀な同窓生を活用せねばと立ち上げました。各界で活躍されておられる同窓生のご講演は多くの同窓生の生活や仕事に大きく貢献してきました。“わがともがらは山川のゆるぐことなく遠ながくともにともにいそしまむ”と例会を重ねてまいりました。そして、三十七年後の本年七

月、一つの大きな区切りである第三百回を迎えることができました。

当日、七月十七日、青山先輩、和賀井敏夫先輩（中42回）、仙台から大井龍司同窓会会长（高10回）、佐藤隆輔在京同窓会長（高5回）、庄子清右工門氏（高2回）の皆様に“北社会への思いを語り合う”というテーマで率直に思いを語つていただきました。

参加された四十数人の同窓諸兄も時折目頭が熱くなったりと思います。

「北社会」は一高を卒業後、何年経とうが、何才になろうが、二高在学時代の「質実剛健」の精神が「文武一道」となって、各自の心に受け継がれ、社会人になつても一人一人のバックボーンとなり、世間に媚びる事無く、主体的に生き抜いている同窓生の集まりを目指しております。

例会は同窓生のご講演が主体で参加者は拝聴して、自分の生活・仕事に大いに参考にさせていただいております。青春のたった三年間を川内で過ごしたというだけで、年令差なんか関係なく初対面でもすぐ打ち解けることができま

す。同窓生の皆さん、私達だけが持ちうる“数少ない人生の宝”ではないでしょうか。

「北社会」も四百回、五百回を迎えるために新しい道を歩もうと思っています。若い世代に呼び掛けたら力強い支援が寄せられています。大袈裟ですが、個人の成長、そし

て社会への貢献を目標に努力を続けたいとあらためて思つております。



一度の大津波に立ち向かう

一 度の大津波に遭遇して

気仙沼カントリークラブ理事長 千葉 建郎（高8回）

平成二十三年（二〇一一年）

のものです。

三月十一日午後二時四十六分頃突然の巨大地震が発生、直後に襲った大津波で私の住んでいた気仙沼市は壊滅的な被害を受けた。場所によっては二十m近い真っ黒な波の塊が一気に押し寄せ、沿岸の家々、逃げる車、人々を飲みこんだのです。マグニチュード九・〇は明治以降の観測史上最大

生き抜いている同窓生の集まりを目指しております。

例会は同窓生のご講演が主で参加者は拝聴して、自分の生活・仕事に大いに参考にさせていただけております。青春のたった三年間を川内で過ごしたというだけで、年令差なんか関係なく初対面でもすぐ打ち解けることができます。

消防活動にも拘わらず三日間も燃え続けたのです。海の近くにあった我が家も庭木一本残さず消えてしまいました。地震発生時、私は気仙沼ゴルフ場クラブハウスの二階で株主総会を開き、全員がそろつたので、「只今より…」と開会の宣言をした瞬間に猛烈な揺れを感じ、全員をベランダに避難させ、余震が続く間、二km先の海原を眺めていると、急に湾内の海水が沖に向かって引きはじめ、目の前の大島がぐんぐんとせり上がって来る様に見えました。その引き潮は五~六km先の水平線上で押し寄せてきた大津波とぶつかり、山のように盛り上がり、黒い波の固まりとなり、白い波頭を泡立たせながらどんどん速度を上げ、海水浴場のお伊勢浜、潮吹岩の岩井崎、大規模冷蔵庫群のある階上漁港や周囲の住宅や松林等全てのものを轟音を発しながら瞬の内に破壊・消去してしまったのです。内湾に向かって行った黒い波は信じられない程のエネルギーを持って気仙沼の市街地を惨憺たる姿に変えてしまいました。津波は何度も

同 稿 會 報

ていつたのですが、気仙沼は浜も陸も猛火に包まれて被害は更に増大していつたのです。

バルバツクの「つなみ」

(The Big Wave) では大津
波が三陸沿岸の漁港に迫り寄
せる様子を以下のように表現
しています。“紫色をした海
のへりが持ち上がって、雲に
向かってそびえ立つ様に見え
た。そして端を白く泡立てて、
爪をたてるようになると湾の中
くなり、数秒もすると湾の中
に迄到達し、あたり一面うな
りと叫び声に包まれました。
波は平らで動きの無い海上の上

書いたと思いますが、この津波の描き様は私がゴルフ場から見た津波の姿と本当によく似ています。

セイントマーチンズと五十年前の一九六〇年に東北大学ボート部工
イトクルーがローマオリンピック代表になり、予選後の初練習を五月二十四日に始めました。まさにこの五月二十四日
にチリ地震による大津波が三陸海岸を襲って大きな被害を
与えたのでした。

チリの大地震によつて起きた津波は、二十二時間かけて日本に到達、途中ハワイに被害を与えてゐるのに、気象庁はその地震と津波の襲来を伝えなかつたのです。我々はいつものように塩竈港へ漕ぎ出したのですが、異様な海の雰

囮気を感じ、艇を急旋回させ
全力の力漕で貞山堀に戻りま

した。艇をあげた時には、堀

たのかもしません。

今回の震災で不明者も含め死者の数は一万九五四八人

で人的被害が皆無だったのは不幸中の幸いと云えるでしょう。今後も三陸の海では巨大

(十月三十日現在)となりました。ちなみに過去の大津波の被害者数をみると、明治十九年の大津波二万六三六〇人、昭和八年の大津波二九九五人、昭和三十五年のチリ地震津波一〇五名と次第に減少してきました。三陸沿岸各地では過去の経験と専門分野の研究の進展で可能な限りの防災対策を講じて来た筈です。

しかも、今回の大地震でこれ

なエネルギーを持つ大津波の発生は必然です。名取艇庫での練習を再開させるに当たっては、この事態を想定しての建築物の強化、津波情報受信方法、そして避難方法の訓練も厳重に行い、如何なる大地震に遭遇しても人的被害だけは絶対出さないよう、関係者全員で検討して頂きたく思っています。

しかし、今回の大地震でこれが
だけ多くの犠牲者が出了のは
何故なのでしょう。私自身、
今回も運よく生き残れたので
すが、正直、津波の巨大な工
ネルギーについては多分に過小
評価していました。津波が自
然現象である限り、今後も必
ず発生する訳であり、海底地震
が頻発する場所が沖合にあ
り、リアス式海岸という津波
の影響を受けやすい地形をし
てている三陸の沿岸は今後も津
波の襲来があり、大きな被害を
受ける事が予測されています。
今回の津波では名取にある
東北大学艇庫も予想もしない

から、ゴルフ場での生活を始めました。幸いゴルフ場はほとんど被害を受けずに済んだので、この施設を活用して被災者の方々のお世話を続けています。ゴルフコースを開放して散歩コースとしたり、子供達の遊び場として利用してもらったりし、とても喜ばれています。また、中高齢の方々の健康維持に役立ててもらうために、三十六ホールのパークゴルフ場を特設し、調査二日大勢の人々でにぎわっています。クラブハウスでの風呂の提供は一番喜ばれたので

被害を受けたのですが、学生諸君が戸田合宿をしていたの

すが、避難所が閉鎖され、八月いっぱいで終了し、私もい

くらか体が休まるようになりました。ボランティア活動で全国から来てくれた人達にも宿を提供して感謝されながらも素敵な人達と知り合いになりました。ボランティア活動で全国から来てくれた人達にも宿を提供して感謝されながらも素敵な人達と知り合いになりました。

震災で被害を受けた私共に東北大学関係の皆様や全国の方々から温かい励ましの手紙や貴重なお見舞いを頂きましたこと、この場をお借りして心からお礼を申し上げます。

今後共健康に留意しながら自分で出来ると思うことには全力で取り組んで厳しい現状にある地域の復興にいささかも貢献していく覚悟です。

そして今も大きな夢の実現に挑戦し続けています。それは世界マスター・ズレガツタでの金メダル獲得です。昨年はボーランドのポツナムで戦いましたが、震災後の疲労等で体調を崩したまま参加してしまい大差で完敗しましたが東日本大震災の気仙沼から来たという事で世界中から集まつたボート仲間達から大変な励ましとお見舞いの言葉を受け感激致しました。

イスブルグで行われる大会にエントリーを決めています。昨年よりは体調が良くなっています。地域の復興はなかなか進展しているので思つきり漕いでこようと練習を続けています。

三陸沿岸地域の筆舌に尽くしがたい惨状、そして再生の為に必死に努力している姿を多くの人達に見て頂きたいと思います。皆さんに被災地を訪れて頂く事が地域住民にとって本当に力強い復興支援になるものと考えています。

ルの二種目に出場したのです
が、余りにも非力、それに震
災後殆んど練習が出来ない状
況だったので大差で敗けてし
まいました。

それでも一九六〇年のローリー
マオリン・ピック時代のボートレ
イ仲間に会えたり、又昨年の東
日本大震災被災地の宮城、氣
仙沼から参加したと云う事で
大勢の人達から励ましの言葉
を頂きました。

これからも健康管理をしつ
かりと行ない、必要なトレーニ
ングを継続させて、来年、
イタリアのバレーで行われる
世界マスターズに挑戦する
積りです。そして五年後、カ

東日本大震災・原発事故避難の立場から考えた「医療の原点とは」

福島県南相馬市小高区

今野外科医院

今野 明(高2回)

明高回

はじめに

皆さんはこの記事を目にした
のは被災後一年九ヶ月になる
頃でしょうが、今年も暮れよう

とする今も、未だに避難生活を余儀なくされている方々に

心からお見舞い申し上げます。



今年の世界マスターズレガッタで
ダブルスカルを漕いだ木野さん（大阪・右）と

あるが、大震災・大津波・原発事故という三重苦の真っ直中にいる福島県民の一人として原稿依頼を引き受けた。宮城県、岩手県とも各々甚大な被害があり、復興もままならないと思ふが、福島県は東京電力福島

第一原子力発電所（東電福島第一原発）の事故、及び風評被害などにより、更に先が見えない不安な状態であることは、報道はされていてもなかなか現実的にはお分かり頂けないのでないだろうか。母校の同窓会報に寄稿できる機会を光栄に感じながら避難状況を皆さんに伝えたいと思う。
被災

平成二十三年三月十一日
(金)、自分は、東電福島第一原発から約十八km北に位置する福島県南相馬市小高区（旧小高町）で、亡父の急死により十三年前から小さな外科医院を引き継いでいた。海岸寄りの往診を終えて帰宅した僅か五分後に大地震が発生した。当院は外壁に亀裂が入ったり一部剥がれ落ちたりはしたが、事態が落ち着きさえすれば診療は出来る程度ではあった。しかし、停電と度重なる余震のために診療は中止せざるを得ず、当院から徒步三分程の南相馬市立小高病院が電気は使えて比較的機能していたことから、患者は取りあえずそちらで診て頂くようにお願いし、自分もそこに移動して診療の手伝いを申し出た。とこ



梁川病院長の辞令交付

ろが思いの外運ばれてくる串
者は少なく、自院に戻り身寄
りのない患者を避難所に車で
送り届けたり、事後の対応に
追われたりしていた。未曾有
の大災害で日本全体が大変なこ
とになっていたことは避難指
示のTVを見るまでは全く知
らなかった。

原発避難

ろが思いの外運ばれてくる事
者は少なく、自院に戻り車寄せ
りのない患者を避難所に車で
送り届けたり、事後の対応に
追われたりしていた。未曾有の大災害で日本全体が大変な
ことになっていたことは避難所のTVを見るまでは全く知
らなかつた。

んど機能しなかつたことから原町区の避難所でボランティアを始めた。しかし、次々と悪化する原発事故の状況から、その避難所も危なくなり、三月十六日には避難所の全員に、急遽決まった新潟県の受け入れ先に移動するようとに、南相馬市がバスを用意した。結局、太平洋から日本海側に

新潟県知事の協力もあって新潟県の聴診器が市民から届けられたり、市内全部の避難所を巡回診療することも可能になつた。新潟県は中越地震、中越沖地震、水害等の被災県であつたことも大きいが、住民はみんなとても親切で、心温まる対応をしてくれるので大変有り難かった。

故以前から厳しい状況にあつたが、今回の大震災・原発事故により一層、崩壊に近くなっている。地域医療の再生は程遠く、住民の帰還もままならない現実を見ると、自院が再開出来る日はまだまだかなり遠いと判断せざるを得ず、それまでの間だけでも伊達地方の医療に微力ながらお手伝い

彼と連絡が取れてホッとした。また、福島には有り難い同期生がいる。本会報に同時に寄稿しているが、NHKの顔であるエグゼクティブアナウンサーであった伊藤博英氏は、初任地である福島県の東日本大震災・原発事故の状況から自ら異動願を提出し、平成十四年度のキャスター人事で

んど機能しなかつたことから原町区の避難所でボランティアを始めた。しかし、次々と悪化する原発事故の状況からその避難所も危なくなり、三月十六日には避難所の全員に、急速決まつた新潟県の受け入れ先に移動するようになると、南相馬市がバスを用意した。結局、太平洋から日本海側に日本を横断するように約三百kmを七時間近くかけて、避難先の新潟県三条市の総合福祉センターに母と一緒に到着したのは当日深夜であった。

新潟県知事の協力もあって新潟県の聴診器が市民から届けられたり、市内全部の避難所を巡回診療することも可能になつた。新潟県は中越地震、中越沖地震、水害等の被災県であつたことも大きいが、住民はみんなとても親切で、心温まる対応をしてくれるので大変有り難かった。

故以前から厳しい状況にあつたが、今回の大震災・原発事故により一層、崩壊に近くなつてゐる。地域医療の再生は程遠く、住民の帰還もままならない現実を見ると、自院が再開出来る日はまだまだかなり遠いと判断せざるを得ず、それまでの間だけでも伊達地方の医療に微力ながらお手伝いが出来ることが、場所は違つても医療者として患者に接する機会を与えられる喜びを感じることには違いがないのではないかと思うようになつてきた。伊達市が購入したホールボディカウンターのうち一台は梁川病院にも設置され、伊達市民全員の内部被曝検査にも貢献している。

彼と連絡が取れてホッとした。また、福島には有り難い同期生がいる。本会報に同時に寄稿しているが、NHKの顔であるエグゼクティブアナウンサーであった伊藤博英氏は、初任地である福島県の東日本大震災・原発事故の状況から自ら異動願を提出し、平成十四年度のキャスター人事で同年四月よりNHK福島に単身赴任している。ニュースはもちろん、県内でも人気のあるローカルコーナー「はまなかあいづ」は福島県の「浜通り」「中通り」「会津地方」の三地にて我々を元気づけてくれている。ちなみに「はまなかあいづ」とは福島県の「浜通り」「中通り」「会津地方」の三地の方の呼び名を縮めて番組のタイトルとしたものである。このような活躍は仙台二高の同窓生、同期生として誇らしく思う。

五月合併号から不定期に寄稿してきた。現在も約十六万人の福島県民が避難している状況だが、同じ県内でも微妙な温度差もあり、まして県外では風化の恐れも感じている。南相馬市小高区の警戒区域が解除された平成二十四年四月十六日直後までの六回分の掲載記事をまとめて二百部限定で冊子化した。福島県民が背負ったこの悲劇、悩み苦しみは体験したものでないと分からぬ事故ではあるが、万が一他の地域でも同じようなことが起こった場合の参考にと、現在進行形の記録として残しておきたいと思っている。

現時点で、平成二十四年九月号の記事まではPDFファイルとしてCDで譲ることは可能なのでご希望の方は当方までご連絡頂きたい。

医療の原点

大震災で各界の同窓生が立ち上がった報告が同窓会報に掲載されている。様々な立場で各自の出来ることを精一杯やつてこられた実績が紹介され頼もしく嬉しい。自分の場合を振り返ると、原発避難で新潟県三条市まで行き、新潟

県民の人情に触れ、多くの人からご支援、励ましなどを受けて世の中の全ての人達に感謝したい気持ちでいる。「医療者としてどこまでやれたか」と言うと、実は「何も出来なかつた」のが正直なところであります。当初は「医者として何か役に立てるのではないか」と立場上「上から目線」のよう自分がやったことを白状する。一緒に避難している人達を前にして、医療機器はなし、注射も出来ない、薬も投与できない、外科治療もできない自分で自分であった。では、「避難所で何をしていたか」というと、ただ「話を聞いていた」傍に「寄り添うこと」のみであった。不安だらけの環境の中で小さな光明と一緒に必死に探すことであった。それでも自分を知っている地域の人達や患者は「先生に会えて良かった」「地獄に仮だ」と笑顔を見せてくれる。自分を知らない人でも白衣姿に見つけて陥しかった表情が

こんな有り難いことはない。二高時代は勉強しなかったせいで六年も浪人してやっと医者になれたと思つたら、卒後二十七年経つてようやく「医療の原点」をこの震災をきっかけに改めて気づかされた。人の悩みや苦しみを分かち合う、一緒に悲しみ、喜び、共有すること。じつと傍にいてあげること。そこから物事が動き出す。千年に一度の大災害ではあったが、人の優しい心遣いに触れる機会が多くなった。いや、気付いていなかつた心の機微が敏感に感じられるようになつたということだろうか。悪いことばかりではない。これからは明るく上を向いて生きていこうと思う。

おわりに

伝統ある仙台二中、仙台二高の同窓会報に寄稿の機会を与えて下さってありがとうございます。長々と書いてしまいましたが、隣県とはいえた。それでも自分がどうございました。長いNHKの歴史のなかでも例のないことだそうです。

自分を知らない人でも白衣姿に見つけて陥しかった表情が。何も出来ないでいる自分にこんな状況でも喜んでくれて、その晴れやかな笑顔を見て逆に自分は元気をもらう。

おわりに

伝統ある仙台二中、仙台二高の同窓会報に寄稿の機会を与えて下さってありがとうございます。長々と書いてしまいましたが、隣県とはいえた。それでも自分がどうございました。長いNHKの歴史のなかでも例のないことだそうです。

去年三月十一日、私は震災発生直後からラジオのマイクにむかい、巨大津波から命を守るために放送を出し続けていました。東京のスタジオもぐらぐらと大きく揺れました。余震が続く中必死で避難を呼びかけ続けました。

福島では夕方六時十分からの「はまなかあいづtoday」というニュース番組のキャスターを担当しています。福島メータルです。危険です。今すぐ高台に避難してください。

私の放送はこの言葉から始

こんな有り難いことはない。二高時代は勉強しなかったせいで六年も浪人してやっと医者になれたと思つたら、卒後

福島の思いを福島から全国へ届けたい

NHK福島放送局 エグゼクティブアナウンサー

伊藤 博英（高25回）



「福島に住んで、福島の人たちと同じ空気を吸い、同じものを食べて生活することで、東京のスタジオでは見えないものが見える。福島の思いを福島から全国に発信したい。」

そんな思いで、今年四月東日本大震災と原発事故の被災地福島に赴任しました。

高25回NHKアナウンサーの伊藤博英です。アナウンサーの生活三十五年。これまで主に報道アナウンサーとして総合テレビの「おはよう日本」「ニュース7」などのキャスターや政治・選挙、皇室、災害報道などを担当してきました。平成十二年から三年間仙台放送局でも夕方のニュース番組のキャスターをしていましたが、隣県とはいえた。それでも自分がどうございました。長いNHKの歴史のなかでも例のないことだそうです。

去年三月十一日、私は震災発生直後からラジオのマイクにむかい、巨大津波から命を守るために放送を出し続けていました。東京のスタジオもぐらぐらと大きく揺れました。余震が続く中必死で避難を呼びかけ続けました。

福島では夕方六時十分からの「はまなかあいづtoday」というニュース番組のキャスターを担当しています。福島メータルです。危険です。今すぐ高台に避難してください。

同 稿 會 報

波。多くの生命財産に重大な危険が迫っている。一人でも多くの命を救いたい。故郷東北を津波から守りたい。「これは命を救うための放送だ。」その時の私の思いでした。

福島で十メートル。湾の奥深く、半島や岬など地形によつてはさらに高くなることもあります。」「一刻も早く避難してください…。」

胸を痛める日々が続きました
そして福島は原発事故が県民の暮らしを大きく変えました

に病気をして公の場は遠慮させていただいていますが、私以上に二高の発展と活躍をお

祈りしています。末筆ながら何かの折に皆様にどうぞよろしくお伝えください。

福島で十メートル。湾の奥深く、半島や岬など地形によつてはさらに高くなることもあります。「一刻も早く避難してください…」

福島で十メートル。湾の奥深く、半島や岬など地形によつてはさらに高くなることもあります。そして福島は原発事故が県民の暮らしを大きく変えました。被災地は復興に向けて少しずつではありますが動き始めています。しかし、福島ではまだ多くの方が原発事故の危険が迫っている。一人でも多くの命を救いたい。故郷東北を津波から守りたい。「これは命を救うための放送だ。」その時の私の思いでした。

アナウンサーとして何度も大地震や津波の放送を経験し、重ねてきました。岩手に生まれた宮城に育ち、初任地は福島もあり、災害報道では重要な土地勘もあります。

命を守るにはこれしかありません。そのためには、情報を早く知り、ただちに行動に移すことが必要です。しかし、現実には巨大地震に続き大津波警報が出されても避難を開始しなかった方がほとんどでした。しかも広範囲の停電で

影響で避難生活を余儀無くされ、故郷や家族、友人と離れ離れの暮らしに多くの方が疲弊しています。復興の見通しが見え立てられないところも少なくありません。がれきの処理や除染も遅々として進みません。

ゴルフにおいてそのプレイヤーの年齢以下のスコアでプレイすることをエージュートというが、そのエージュートを平成二十二年の十月に達成したので報告します。

法、青木功の芝の読み方その他を熟読玩味した。第二に夕手のスイングの連続写真を分析し、人体の骨、関節、筋肉の動きを自分の動作に合わせながら理解し自分に合ったスイングを少なくとも頭の中で完成させた。

津波の特性に加え、現場の地形と住民の生活をイメージして被害を想定し、具体的に

情報そのものの伝達も十分ではありませんでした。

キャラスターとしての福島での生活も半年を超えました。

アもまとまらず、体力も衰え
ドライバーの距離も落ち、ア

学習したエッセンスを三冊のグループに分け、第一冊は

「海岸や川の河口から離れて
所に避難してください。高台
がなければ頑丈なビルの高層
階に避難してください。」「津
波は船舶や建物を押し流して
ください。」「海を見に行くの
は危険です。」「少しでも高い
所に避難してください。高台
として被害を想定し、具体的には
避難を呼び掛け続けました。

「予想される津波の高さは十メートルです。危険です。今すぐ高台に避難してください。」という放送で初めて危機が迫っていることを認識し、急遽避難を始めて何とか助かったという声を後日多くの方から聞いたきました。

東日本大震災と巨大津波から助かった命をこれ以上失いたくない。苦しんでいる人たちに少しでも寄り添い、希望の持てる福島を取り戻したい。多くの人たちを故郷から追いやる原発事故の理不尽さと放射線という見えない脅威に、微力ながら放送を通じて立ち

インやバターなど意のままにならなくなってきたので、ゴルフのスイングを根本から改良しもう少し良いゴルフをしようとした。他人に教えてもらうのも不自由だしこれは自分で研究しようと思いこれまで所有していたいろいろなレッスン書を読み直しひ

Golf through the fairway,
とこい安定したゴルフを、第
119回 Consecutive picture
of modern energetic golf
swings 第119回 For that
age shoot! とこい目標意識
を持ちハーメルを高くしてモ
チベーン^ムを高めた。
頭の中でイメージされたゴ

破壊力を増します。」「近くに高齢者や体の不自由な方はいませんか、声を掛け合って避難してください。」「津波は川をさかのぼって内陸深くまで襲うことがあります。」「予想される津波の高さは岩手宮城

しかし、キヤスターとして
は、その後も日々の仕事の中で、
救えなかつた命、交わり
果てた故郷の海、地震と津波
からは助かつたものの大切な人や住まい、仕事をなくして
苦しむ人々、進まない復興に

向かう日々が続いています。
なお、これは本稿とは別で
すが、父は元仙台二高校長の
伊藤英造です。今年九十二歳
になりましたがおかげさまで
両親とも健在で泉区で静かに
暮らしています。父は数年前

徹底的に改良することにした
まず第一にデビッド・レット
ドベターのアスレチックスイ
ング、橋田規のゴルフ新水平
打法、チャック・キャンベル
の飛距離をのばすアイアン打

イングを実験するため練習場に通った。ボールの飛び方が一番の結果を示す。猛練習は一週間に三日くらい、時には五日になることもあった。不明の点を会得しなければならない。昨年の夏は記録的だ

会員近況 エージシユートを達成して

猛暑の連続であつたが、栄養、水分、スポーツドリンクなどを十分に補給したので大汗をかきながらも四ヶ月間堪えることができた。

スコアを良くするにはスイングの改善だけでは不十分である。クラブを調べ、ボールを選択し、手袋を新しくし眼鏡もいろいろ試した。ゴルフシューズも新しくしたが、このフィット感がとても良かつたのが一番効いたのかもしれないと思っている。

さて、もともと特徴のある私のゴルフスイングを変える

のだから大変である。今まで、楽に振っていた体の各部に異常な圧迫や伸展の力が加わり右下腿の外側、左側の背中に痛みが発生し、散々冷シップのお世話になった。そのうちに落ち着いてきたので疲労骨折まではいかなかつたのだろう。

さて、問題のスコアの方はどうなつたのだろう？ 十二回くらいコースを廻ったが84～89くらいだったが、80というのが二回出てハーフで37と38が各一回出た。ますますと思っていた。

平成二十一年十月三日になつた。当日は私の母校の第二十五回全北陵ゴルフ大会の日である。試合前の開会式でちょうど私が競技委員として発声を求められたので、今日は天気は良いし、正しくて良いゴルフをしましようという掛け声の下スタートとなつた。現

代的なゴルフ理論に則つた正しいスイングをして良いスコアのゴルフをしましようといふ意味だつた。

私はなかなか調子が良く午前中に3バーディ3ボギーで36がでた。昼の食事休憩時間というはアマチュアゴルファーにとっては非常に大切な時間である。特に午前に良いスコアが出て午後も良いスコアを出したい人にとってはそうである。私は浮かれることなく静かに過ごし、午後の部は1バーディ4ボギーの39で終えることができた。何とトータル75である。年齢は76であつたので見事Age shoot達成ということになつた。

表彰式ではベストグローブ、

今年の同窓会総会の翌日の七月八日（日）仙台カントリークラブ名取コースにおいて、「同窓会親睦ゴルフ大会」が開催され、高3回から高54回の同窓生と一高同窓会からも五名の参加があり、三十一名による熱戦が繰り広げられ、親睦を深めました。

優勝は、伊藤聰彦氏（一高14回）でした。また、原田伸正氏（高5回）全北陵ゴルフ

会会長）が三回目となるエジ・シユートを達成されました。なお、来年五月十九日（日）（野球定期戦の翌週）に一高同窓会との対抗ゴルフコンペを開催していきますので、ゴルフ愛好者の皆さん是非ご参加下さい。

実施要項は、来春二月中旬に発表しますので、同窓会事務局にご連絡下さい。ファックス等でお送りします。（理事會会長）

同窓会親睦ゴルフ大会開かる… 来年は一高同窓会と対抗戦を予定！

大変満足に思つた。辛い練習の苦勞も楽しい思い出になつた。その表彰式でご挨拶をされたあるゴルフ場の理事長さんがお祝いの言葉について、健全なゴルフアーチの最終目標が五つあると話した。

その表彰式でご挨拶をされたあるゴルフ場の理事長さんはお祝いの言葉について、健全なゴルフアーチの最終目標が五つあると話した。

100をたたく人はゴルフをおろそかにしている。

90をたたく人は家庭をおろそかにしている。

80をたたく人は仕事をおろそかにしている。

70をたたく人はすべてをおろそかにしている。

60をたたく人は仕事をおろそかにしている。

50をたたく人は家庭をおろそかにしている。

40をたたく人はゴルフをおろそかにしている。

30をたたく人は仕事をおろそかにしている。

20をたたく人は家庭をおろそかにしている。

10をたつく人はゴルフをおろそかにしている。

100をたつく人はゴルフをおろそかにしている。

90をたつく人は家庭をおろそかにしている。

80をたつく人は仕事をおろそかにしている。

70をたつく人はすべてをおろそかにしている。

60をたつく人は仕事をおろそかにしている。

50をたつく人は家庭をおろそかにしている。

40をたつく人はゴルフをおろそかにしている。

30をたつく人は仕事をおろそかにしている。

20をたつく人は家庭をおろそかにしている。

10をたつく人はゴルフをおろそかにしている。

100をたつく人はゴルフをおろそかにしている。

90をたつく人は家庭をおろそかにしている。

80をたつく人は仕事をおろそかにしている。

70をたつく人はすべてをおろそかにしている。

60をたつく人は仕事をおろそかにしている。

50をたつく人は家庭をおろそかにしている。

40をたつく人はゴルフをおろそかにしている。

30をたつく人は仕事をおろそかにしている。

20をたつく人は家庭をおろそかにしている。

10をたつく人はゴルフをおろそかにしている。

100をたつく人はゴルフをおろそかにしている。

90をたつく人は家庭をおろそかにしている。

80をたつく人は仕事をおろそかにしている。

70をたつく人はすべてをおろそかにしている。

60をたつく人は仕事をおろそかにしている。

50をたつく人は家庭をおろそかにしている。

40をたつく人はゴルフをおろそかにしている。

30をたつく人は仕事をおろそかにしている。

20をたつく人は家庭をおろそかにしている。

10をたつく人はゴルフをおろそかにしている。

100をたつく人はゴルフをおろそかにしている。

90をたつく人は家庭をおろそかにしている。

80をたつく人は仕事をおろそかにしている。

70をたつく人はすべてをおろそかにしている。

60をたつく人は仕事をおろそかにしている。

50をたつく人は家庭をおろそかにしている。

40をたつく人はゴルフをおろそかにしている。

30をたつく人は仕事をおろそかにしている。

20をたつく人は家庭をおろそかにしている。

10をたつく人はゴルフをおろそかにしている。

100をたつく人はゴルフをおろそかにしている。

90をたつく人は家庭をおろそかにしている。

80をたつく人は仕事をおろそかにしている。

70をたつく人はすべてをおろそかにしている。

60をたつく人は仕事をおろそかにしている。

50をたつく人は家庭をおろそかにしている。

40をたつく人はゴルフをおろそかにしている。

30をたつく人は仕事をおろそかにしている。

20をたつく人は家庭をおろそかにしている。

10をたつく人はゴルフをおろそかにしている。

100をたつく人はゴルフをおろそかにしている。

90をたつく人は家庭をおろそかにしている。

80をたつく人は仕事をおろそかにしている。

70をたつく人はすべてをおろそかにしている。

60をたつく人は仕事をおろそかにしている。

50をたつく人は家庭をおろそかにしている。

40をたつく人はゴルフをおろそかにしている。

30をたつく人は仕事をおろそかにしている。

20をたつく人は家庭をおろそかにしている。

10をたつく人はゴルフをおろそかにしている。

100をたつく人はゴルフをおろそかにしている。

90をたつく人は家庭をおろそかにしている。

80をたつく人は仕事をおろそかにしている。

70をたつく人はすべてをおろそかにしている。

60をたつく人は仕事をおろそかにしている。

50をたつく人は家庭をおろそかにしている。

40をたつく人はゴルフをおろそかにしている。

30をたつく人は仕事をおろそかにしている。

20をたつく人は家庭をおろそかにしている。

10をたつく人はゴルフをおろそかにしている。

100をたつく人はゴルフをおろそかにしている。

90をたつく人は家庭をおろそかにしている。

80をたつく人は仕事をおろそかにしている。

70をたつく人はすべてをおろそかにしている。

60をたつく人は仕事をおろそかにしている。

50をたつく人は家庭をおろそかにしている。

40をたつく人はゴルフをおろそかにしている。

30をたつく人は仕事をおろそかにしている。

20をたつく人は家庭をおろそかにしている。

10をたつく人はゴルフをおろそかにしている。

100をたつく人はゴルフをおろそかにしている。

90をたつく人は家庭をおろそかにしている。

80をたつく人は仕事をおろそかにしている。

70をたつく人はすべてをおろそかにしている。

60をたつく人は仕事をおろそかにしている。

50をたつく人は家庭をおろそかにしている。

40をたつく人はゴルフをおろそかにしている。

30をたつく人は仕事をおろそかにしている。

20をたつく人は家庭をおろそかにしている。

10をたつく人はゴルフをおろそかにしている。

100をたつく人はゴルフをおろそかにしている。

90をたつく人は家庭をおろそかにしている。

80をたつく人は仕事をおろそかにしている。

70をたつく人はすべてをおろそかにしている。

60をたつく人は仕事をおろそかにしている。

50をたつく人は家庭をおろそかにしている。

40をたつく人はゴルフをおろそかにしている。

30をたつく人は仕事をおろそかにしている。

20をたつく人は家庭をおろそかにしている。

10をたつく人はゴルフをおろそかにしている。

100をたつく人はゴルフをおろそかにしている。

90をたつく人は家庭をおろそかにしている。

80をたつく人は仕事をおろそかにしている。

70をたつく人はすべてをおろそかにしている。

60をたつく人は仕事をおろそかにしている。

50をたつく人は家庭をおろそかにしている。

40をたつく人はゴルフをおろそかにしている。

30をたつく人は仕事をおろそかにしている。

20をたつく人は家庭をおろそかにしている。

10をたつく人はゴルフをおろそかにしている。

100をたつく人はゴルフをおろそかにしている。

90をたつく人は家庭をおろそかにしている。

80をたつく人は仕事をおろそかにしている。

70をたつく人はすべてをおろそかにしている。

60をたつく人は仕事をおろそかにしている。

50をたつく人は家庭をおろそかにしている。

40をたつく人はゴルフをおろそかにしている。

30をたつく人は仕事をおろそかにしている。

20をたつく人は家庭をおろそかにしている。

10をたつく人はゴルフをおろそかにしている。

100をたつく人はゴルフをおろそかにしている。

90をたつく人は家庭をおろそかにしている。

80をたつく人は仕事をおろそかにしている。

70をたつく人はすべてをおろそかにしている。

60をたつく人は仕事をおろそかにしている。

50をたつく人は家庭をおろそかにしている。

40をたつく人はゴルフをおろそかにしている。

30をたつく人は仕事をおろそかにしている。

20をたつく人は家庭をおろそかにしている。

10をたつく人はゴルフをおろそかにしている。

100をたつく人はゴルフをおろそかにしている。

90をたつく人は家庭をおろそかにしている。

80をたつく人は仕事をおろそかにしている。

70をたつく人はすべてをおろそかにしている。

60をたつく人は仕事をおろそかにしている。

50をたつく人は家庭をおろそかにしている。

40をたつく人はゴルフをおろそかにしている。

30をたつく人は仕事をおろそかにしている。

20をたつく人は家庭をおろそかにしている。

10をたつく人はゴルフをおろそかにしている。

100をたつく人はゴルフをおろそかにしている。

90をたつく人は家庭をおろそかにしている。

80をたつく人は仕事をおろそかにしている。

70をたつく人はすべてをおろそかにしている。

60をたつく人は仕事をおろそかにしている。

50をたつく人は家庭をおろそかにしている。

40をたつく人はゴルフをおろそかにしている。

30をたつく人は仕事をおろそかにしている。

20をたつく人は家庭をおろそかにしている。

10をたつく人はゴルフをおろそかにしている。

100をたつく人はゴルフをおろそかにしている。

90をたつく人は家庭をおろそかにしている。

80をたつく人は仕事をおろそかにしている。

70をたつく人はすべてをおろそかにしている。

60をたつく人は仕事をおろそかにしている。

50をたつく人は家庭をおろそかにしている。

40をたつく人はゴルフをおろそかにしている。

30をたつく人は仕事をおろそかにしている。

20をたつく人は家庭をおろそかにしている。

10をたつく人はゴルフをおろそかにしている。

100をたつく人はゴルフをおろそかにしている。

90をたつく人は家庭をおろそかにしている。

80をたつく人は仕事をおろそかにしている。

70をたつく人はすべてをおろそかにしている。

60をたつく人は仕事をおろそかにしている。

50をたつく人は家庭をおろそかにしている。

40をたつく人はゴルフをおろそかにしている。

30をたつく人は仕事をおろそかにしている。

20をたつく人は家庭をおろそかにしている。

10をたつく人はゴルフをおろそかにしている。

100をたつく人はゴルフをおろそかにしている。

90をたつく人は家庭をおろそかにしている。

80をたつく人は仕事をおろそかにしている。

70をたつく人はすべてをおろそかにしている。

60をたつく人は仕事をおろそかにしている。

50をたつく人は家庭をおろそかにしている。

40をたつく人はゴルフをおろそかにしている。

30をたつく人は仕事をおろそかにしている。

20をたつく人は家庭をおろそかにしている。

10をたつく人はゴルフをおろそかにしている。

100をたつく人はゴルフをおろそかにしている。

90をたつく人は家庭をおろそかにしている。

80をたつく人は仕事をおろそかにしている。

70をたつく人はすべてをおろそかにしている。

60をたつく人は仕事をおろそかにしている。

50をたつく人は家庭をおろそかにしている。

40をたつく人はゴルフをおろそかにしている。

30をたつく人は仕事をおろそかにしている。

20をたつく人は家庭をおろそかにしている。

10をたつく人はゴルフをおろそかにしている。

100をたつく人はゴルフをおろそかにしている。

90をたつく人は家庭をおろそかにしている。

80をたつく人は仕事をおろそかにしている。

70をたつく人はすべてをおろそかにしている。

60をたつく人は仕事をおろそかにしている。

50をたつく人は家庭をおろそかにしている。

40をたつく人はゴルフをおろそかにしている。

30をたつく人は仕事をおろそかにしている。

20をたつく人は家庭をおろそかにしている。

10をたつく人はゴルフをおろそかにしている。

100をたつく人はゴルフをおろそかにしている。

90をたつく人は家庭をおろそかにしている。

80をたつく人は仕事をおろそかにしている。

70をたつく人はすべてをおろそかにしている。

60をたつく人は仕事をおろそかにしている。

50をたつく人は家庭をおろそかにしている。

40をたつく人はゴルフをおろそかにしている。

30をたつく人は仕事をおろそかにしている。

20をたつく人は家庭をおろそかにしている。

10をたつく人はゴルフをおろそかにしている。

100をたつく人はゴルフをおろそかにしている。

90をたつく人は家庭をおろそかにしている。

80をたつく人は仕事をおろそかにしている。

70をたつく人はすべてをおろそかにしている。

60をたつく人は仕事をおろそかにしている。



全北陵ゴルフ大会開会式

青山先輩の祝辞に続き、千葉先輩の東日本大震災直後の様子やその後の復旧のご苦労、東北大ボート部でオリンピックローマ大会出場等のお話を聞かせて頂きました。

高23回の小野寺満明さんがグロス77という圧倒的な強さで優勝され、二高のレベルの高さを示してくれました。世代を超えた交流であつて、この間の三時間で、来年の参加を約束し盛会裏に終えることが出来ました。会場の提供にご便宜を図って頂きました福田喬社長（高16回）のご好意に心より感謝申し上げる次第で

会員近況

ニイタカヤマノボレ1208

順天堂大学 名誉教授 和賀井敏夫（中42回）

人間誰しも、一生の方向を決定するような転機を経験していることと思う。私の長い研究生活の中には、この転機となつたのが、これから紹介する一九五六年（昭和三十一年）の米国での国際会議出席だった。

この話は一九五六年初め、「来年六月にボストンで開催する国際音響学会に貴方を招待、研究を発表して欲しい、学会期間を含め二週間の滞在費用を負担する。」とのボルト会長（MIT）からの夢のようないい招待状に始まった。と言うのも、私は一九五〇年より大学病院の外科医として前例の無い超音波診断の研究を始めて五年、日本の医学会では無視され、何とか物理系の音

す。さて、話は変わりますが、大井同窓会会长のご提案から、来年、約三十年振りに「第二回対一高同窓会ゴルフ対抗戦」を行うことで、両校同窓会が話を進めております。五月十九日、仙台カントリークラブ

に百名の予約を入れております。詳細は来年二月中旬に、皆様にお知らせしたいと思つております。第一回と同様、大差で勝利の美酒に酔いしれないと目論んでおりますので、是非、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

心より感謝申し上げる次第で、この話は一九五六年初め、「来年六月にボストンで開催する国際音響学会に貴方を招待、研究を発表して欲しい、学会期間を含め二週間の滞在費用を負担する。」とのボルト会長（MIT）からの夢のようないい招待状に始まった。と言うのも、私は一九五〇年より大学病院の外科医として前例の無い超音波診断の研究を始めて五年、日本の医学会では無視され、何とか物理系の音

非常に珍しいとのことだった。抄録を送付の上、五月初め勇

米国訪問の旅費については、日本政府が何とかする筈と言つた。それで文部省でも外務省でも門前払いのような対応で、頼みとする私の大学でも、一介の助手では問題にされなかつた。一方、当時、米国への航路が開始されていたが、往復の航空運賃は約十万円で、これは当時助手の私の月給四千円からすると二年分の年俸に匹敵するという天文学的なものだった。しかしどうしてもこの国際会議に出席したいとの思いが強く、研究仲間のものだった。しかしどうしてもこの国際会議に出席したいとの思いが強く、研究仲間の医局員と一緒に色々考えた。

この中で、当時無給医局員の外航貨物船の船医のアルバイトがあつたので、これを利用して渡米してはとの奇想天外な案があった。この計画について色々の可能性を検討した結果、ある海運会社の貨物船で一度この国際学会の頃、ニューヨークに着く便があることが分かり、無理に頼んで船医として乗船出来ることになつた。しかしこれにて国際学会に間に合つたことは、正に奇跡というふうだ。そこで、この旨ボルト会長に招待の受諾とともに発表演題と

躍横浜港を出航したのだった。

一万トン級の大型貨物船の船医のアルバイトをしながら、生きて初めての米国に向けての航海が始まった。本船が

北太平洋を航行していたある日、船長に呼ばれてブリッジに行くと、「昭和十六年十二月一日、帝国海軍連合艦隊南雲機動部隊がニイタカヤ

マノボレ1208（注）参照」の暗号電報を受け、この地点で一斉に南方に回頭、一路真珠湾攻撃を目指したのであった」との説明を受けた。

この話に開戦当時の興奮を思ひ出しながら、今回の航海の重大な目的に思いを馳せていた。その後、太平洋を越え口ングビーチ港に寄港、さらに歴史的なパナマ運河渡航を経験、横浜出航以来四十五日後にニューヨーク港に到着した時は、涙に自由の女神像が霞むほどの感激だった。次いで特急列車でボストンに向かい、国際会議の開会式に間に合つたことは、正に奇跡というふうだ。そこで、この旨ボルト会長に招待の受諾とともに発表演題と

ので、これが大問題となつた。ボルト会長の親切な配慮により、急遽ワシントンより係官が会場に駆けつけ、学会期間中の米国滞在が許可されると、ハブニングもあつた。またこの国際学会に日本の若い研究者が唯一一人船医として出席、しかも「超音波による癌診断」発表というニュースのため、合同新聞記者会見が行われるなど、一躍国際学会の話題の人となつた。本番の学会発表では、演題のトピック的な内容だったこともあり、大反響を呼び多くの質問が行なわれた。その中に「このようないい研究には、如何程の研究費を使ったのか」という質問があり、これに対し私は昭和三十年初めて文部省科学研究費三万円が支給されていたので、当時の一ドル三百六十円から換算して「約八ドル」と答えたところ、すかさず「それは一日の研究費か」との質問には絶句するのみだつた。また学術面以外にも、特急列車内の冷房、自動販売機などの米国の文化文明の驚くべき進歩は、帰国後医局で話しても、誰にも信じてもらえないほどだった。これはその

後の日本経済の急速な高度成長を見る時、今昔の感に堪えないのである。同時にこの国際学会出席こそが、その後私の一生を決める転機となつたのだった。

〔注〕ニイタカヤマ（新高山・三九四七メートル、現玉山）

「本物語（第38号）三九出版」より
 卒業後四十四年経ってしまいました。この間の経過は、概ね「これでよいのだ！」の心境です。私が二高を選んだ理由は、父、叔父、兄の母校であり親近感があったことが一つですが、決め手は二高の環境、その佇まい、雰囲気でした。今でもその当時の雰囲気を醸し出しておらず、私はよんどん改めて思い出します。
 理科実験室の見学



星 信夫（高21回）
 国立病院機構宮城病院循環器科部長

同窓生からの寄贈本の紹介

（平成23年度）

● 歌仙両吟 暫然居 往還	井上 功（雨文）（高10回）様
● 新未知への群像 科学者が語る自伝（山川民夫著）	浦島 政保（高21回）様
● 現在につづく昭和40年代激動文化	佐藤 芳博（高19回）様
● 海外駐在力	青山 史朗（中40回）様
● 在外駐在力	日下 啓（高14回）様
● 宗教法人税制「異論」	竹崎 正道（高4回）様
● 地球温暖化がわかる本	佐藤 良彦（高4回）様
● 作用素環の構造	出村 博（高4回）様
● 真向法、決定版真向法	三宅 正樹（高4回）様
● ホルモン・マジック	吉田 博之（高4回）様
● 政軍関係研究	飯野 敏（高4回）様
● 氷とプリズム、鬼火を封じた埴輪、	山岸 俊一（高4回）様
● 詩集神々の息吹	
● 画集やまびこ	
● 新しい歴史教科書、教育の歴史、要説教育制度、日本の近代化と人間形成、「勉強」時代の幕開け、ゆとりを奪つたゆとり教育	
● 漱石全集全18巻（岩波書店1965-76）	
● ごしゃがれつと	
牛田 敏（高4回）様	
庄司 久夫（高18回）様	
尾高 悅彦（中45回）様	

楽しみにその日を待ちました。そして校内ツアーワーの当日、あいにく雨でしたが、二高の正面に参考集とありましたので行つてみたら、一人しかいませんでした。なんだ！いくら雨でも一人しか集まらないのかと思っていたら、学校職員の方に応接室に案内され、そこには何人かのOBの方が居られ、合計十名程の参加となりました。大井龍司同窓会長、鈴木誠一副会長、渡邊幸雄校長のご挨拶を受けた後、主に渡邊校長のガイドで校内ツアーガが始まりました。

概ねを記すと校舎内をひとまわり、外に出て道路を横切り、体育館、アール、北陵館を巡りました。建物は我々の時代のものではありませんでしたが、基本的構造が同じなのである当時の印象でした。ここには食堂があつたな」とか、「この下は小体育馆だった」とか、「この廊下の両脇は部室だった」とか、「弓道場は校庭の対角にあつたのだが」等々懐かしさに浸りました。生徒達ともすれ違いましたが、皆素直な良い子達はこんな良い子じゃなかつ

せんでした。なんだ！いくら雨でも一人しか集まらないのかと思っていたら、学校職員の方に応接室に案内され、そこには何人かのOBの方が居られ、合計十名程の参加となりました。大井龍司同窓会長、鈴木誠一副会長、渡邊幸雄校長のご挨拶を受けた後、主に渡邊校長のガイドで校内ツアーガ

が始まりました。

（おれ達はこんな良い子じゃなかつたな）。又、校長先生と生徒達のちょっとした会話をも

満足感はありました。企画、実行された方々に御礼を申し上げます。今後も是非この企

画を続けられることを望みます。OB間の輪も広がるでしょうし、在校生とのコンタクトも得られるでしょうから。

最後に、少し（いや大きい）気になるのですが、仙台市の道路計画により正門を含め、

も貴重なものです。この貴重なものを見同窓生一丸となって守りたいですね。

母校で「造形」のページを繰ると確かにありました。一ページに歌詞と楽譜があり、さら

に「作詞 三浦達 文芸部 作曲 小野紀雄 文芸部 補作 工藤宗夫 吹奏樂部」と記されていました。作詞した高11回の三浦達さんからお話を伺いました。

「当時、文語体の応援歌はあったが、口語体の応援歌がなかった。応援団から依頼があり、自分たちの言葉による応援歌を作ろうと作詞した。」と三浦さんは當時を振り返っています。

（理事会）

樹木がなくなってしまうかもしないという話を聞きました。そうなることはとても残念です。必要性があまり感じられないでのおさら残念です。私個人の二高入学の大きな動機となつたものがなくなっているですから。私個人のこと

を言わずとも、これだけの樹木が醸し出している何んまい、霧開気は在校生、同窓生のみならず全ての人にとってとても貴重なものです。この貴重なものを同窓生一丸となって守りたいですね。

「造形」11号に「燃ゆる血潮」の作詞者らが掲載されているところでした。

三浦さんは最後に「凱歌」はいい歌だ。ぜひ歌い継いでほしい」と話していました。ところで、今回の取材の折に、「造形」14号（昭和三十七年二月発行）に、新応援歌として「たくましき翼」の歌詞が掲載されました。どうなか情報提供をお願いします。

応援歌探訪 第五回

OBの元特命全権大使 天江氏 創立記念日に講演

去る五月一日（火）の創立百十二周年記念日には本校講堂にて、本校OBの天江喜七郎氏（高14回）より「二高生よ、まだ見ぬ世界へ飛び出せ！」という題でお話を頂戴いたしました。氏は外務省の特命全権大使などとして外交の舞台で長年活躍された後、国立京都国際会館館長に就任され今まで、任を全うされたばかりです。

天江氏は今後も外務省顧問としてお忙しい毎日を送られることがあります。また、本会関西支部長でもいらっしゃいますので、本会の活動にももますますのお力添えをお願いします。

天江氏は今後も外務省顧問としてお忙しい毎日を送られることがあります。また、本会関西支部長でもいらっしゃいますので、本会の活動にももますますのお力添えをお願いします。

天江氏は今後も外務省顧問としてお忙しい毎日を送られることがあります。また、本会関西支部長でもいらっしゃいますので、本会の活動にももますますのお力添えをお願いします。

（理事会）

「燃ゆる血潮の作者を知っています。前号発行後、そんな文面のはがきを高14回の今井隆雄さんからいただきました。電話をしてもっとお話を伺うと、

母校で「造形」のページを繰ると確かにありました。一ページに歌詞と楽譜があり、さら

に「作詞 三浦達 文芸部 作曲 小野紀雄 文芸部 補作 工藤宗夫 吹奏樂部」と記されていました。作詞した高11回の三浦達さんからお話を伺いました。

「当時、文語体の応援歌はあったが、口語体の応援歌がなかった。応援団から依頼があり、自分たちの言葉による応援歌を作ろうと作詞した。」と三浦さんは當時を振り返っています。

（理事会）

「燃ゆる血潮の作者を知っています。前号発行後、そんな文面のはがきを高14回の今井隆雄さんはいい歌だ。ぜひ歌い継いでほしい」と話していました。

三浦さんは最後に「凱歌」はいい歌だ。ぜひ歌い継いでほしい」と話していました。ところで、今回の取材の折に、「造形」14号（昭和三十七年二月発行）に、新応援歌として「たくましき翼」の歌詞が掲載されました。どうなか情報提供をお願いします。

三浦さんは最後に「凱歌」はいい歌だ。ぜひ歌い継いでほしい」と話していました。三浦さんは最後に「凱歌」はいい歌だ。ぜひ歌い継いでほしい」と話していました。

（理事会）

（理事会）

会報は平成!十五年度から年一回、A4判で発行



現在、六月と十二月に年二回発行している会報を平成二十五年度から年一回発行とします。同時に、現在のB5判をA4判にあらためます。この変更は平成二十四年五月の評議員会で承認され、七月の総会で報告しました。

年会費収入が順調に集まらない中で、同窓会財政で会報発行経費が占める割合は大きいものです（平成二十三年度は会費収入の五七%）。一方で、年二回の掲載内容は一回にまとめて十分伝えられると思われます。年一回化で財政上の負担、製作にかかる負担を軽減し、より同窓会活性化

期待でき、より内容を充実させカラーページを増やすなど、日本を目指す同窓会にふさわしく編集していきます。

今回の変更による情報提供

量への不安、タイムリーな情報提供への懸念などに対しては、年一回の会報の内容を充実させるとともに、これまで以上に同窓会公式ホームページの活用を図り、補完させます。



紹介した通り、平成二十五年度から年一回、A4判での発行となります。今号は各地の支部に呼びかけたところ、たくさんの方々の原稿が寄せられ、会報担当一同喜んでいます。この場をお借りして厚く御礼申上げます。次号にはこれまで以上に積極的な寄稿をお願いします。次号は平成二十五年六月発行予定で、原稿締め切りは四月二十日（土）です。

昨年度に続き本年も同窓会報冬号発送に併せて未納の方に再度、会費納入払込用紙を同封いたします。会費収入は同窓会活動の基盤です。平成十年前後には一千万円を超えた時もありましたが、二十一年度は八百万円を割る残念な状況でした。発送一万六千通に対して三千人前後

お気持はあります。会費収入に依って同窓会活動が支えられることが理解いただき、会員相互にお声がけいただければ幸いです。理事会としても同窓会活性化の策を色々と講じておこなっていますが、評議員、常任委員の方々にも同期会員の年会費納入について激励方よろしくお願ひ申し上げます。各回期の納入者の一覧を事務局でお示し出来ますので是非ご活用下さい。（副会長 鈴木邦夫）

会報送付のアンケートを実施

ご協力を!!

今回の変更に当たり、平成二十五年度以降、会報送付を希望しない方は、FAX（封のアンケート用紙）かEメール（qqnt4329@wonder.ocn.ne.jp）で同窓会事務室へお知らせください。従来は同窓会届けしないこととします。

費納入の有無にかかわらず会員全員に会報を送付していくましたが（毎年会費納入会員約二〇%）、会費の有効活用のためアンケートを行い、送付を希望しない方へは会報をお届けしないこととします。

「思い出のアルバム」コーナーへの貴重な写真提供、連載中の「応援歌探訪」への情報提供などもお待ちしております。

△原稿送り先
〒980-8631
仙台市青葉区川内瀬橋通一
仙台二高同窓会事務室
FAX 022-221-5686
qnt4329@wonder.ocn.ne.jp

年会費納入促進のお願い

各地支部、職域の集まり、同期会、部活動OB会、会員の話題などをお寄せください。「北陵健児の行くところ（進学編）」「北陵健児の行くところ（職業編）」をはじめ、一人一人の現役時代の思い出、母校への思いなども歓迎です。

平成24年度 同窓会費納入状況

平成24年10月23日現在

会報 発送数	口数	入金額	会報 発送数	口数	入金額	会報 発送数	口数	入金額			
中28	8	0	0	高10	257	86	258,000	高39	206	19	57,000
中29	7	0	0	高11	261	98	294,000	高40	220	29	87,000
中30	4	1	3,000	高12	254	75	225,000	高41	228	16	48,000
中31	6	0	0	高13	218	53	159,000	高42	239	6	18,000
中32	6	2	6,000	高14	250	74	222,000	高43	219	17	51,000
中33	10	0	0	高15	242	62	186,000	高44	211	13	39,000
中34	14	2	6,000	高16	244	52	156,000	高45	246	11	33,000
中35	14	3	9,000	高17	247	59	177,000	高46	236	19	57,000
中36	12	1	3,000	高18	232	57	171,000	高47	249	13	39,000
中37	22	4	12,000	高19	214	56	168,000	高48	241	9	27,000
中38	20	1	3,000	高20	195	42	126,000	高49	253	17	51,000
中39	25	7	21,000	高21	271	63	189,000	高50	224	18	54,000
中40	43	10	30,000	高22	391	70	210,000	高51	220	12	36,000
中41	42	9	27,000	高23	197	43	129,000	高52	209	11	33,000
中42	48	18	54,000	高24	210	31	93,000	高53	229	10	30,000
中43	50	17	51,000	高25	209	47	141,000	高54	238	6	18,000
中44	75	20	60,000	高26	226	39	117,000	高55	238	14	42,000
中45	85	21	63,000	高27	224	27	81,000	高56	242	20	60,000
中46	90	22	66,000	高28	204	38	114,000	高57	262	16	48,000
中47	109	23	69,000	高29	198	22	66,000	高58	280	20	60,000
高1	112	18	54,000	高30	204	34	102,000	高59	282	15	45,000
高2	143	38	114,000	高31	191	19	57,000	高60	282	33	99,000
高3	164	58	174,000	高32	229	32	96,000	高61	287	31	93,000
高4	191	71	213,000	高33	217	29	87,000	高62	287	30	90,000
高5	184	58	174,000	高34	206	19	57,000	高63	305	34	102,000
高6	208	69	207,000	高35	219	26	78,000	高64	309	79	237,000
高7	173	50	150,000	高36	221	24	72,000	合計			7,443,000
高8	216	54	162,000	高37	212	18	54,000				1口 ¥3,000-
高9	219	71	213,000	高38	204	20	60,000				

なお、本会報の会長巻頭言
や別掲記事で触っていますよ
うに、平成二十五年度から会
報発行を今年度までの年二回
から年一回とするのに伴い、
年会費払込用紙の送付も基本
的には年一回となります。ど
うぞ、どなたも忘れずにご協
力ください。
今後とも年会費の納入にご
協力いただきますよう、よろ
しくお願いいたします。

年会費の納入は、会報に同
封した払込用紙を使用して郵
便局でお納め下さい（記号番
号02290-4-13168）。また、左記の銀行口座
にお振り込みただいても結構
です。その際は振込手数料
を差し引いていただき、振込
人としてお名前の前に卒業回
期（または卒業年）をご記入
ください。

銀行振込も可

会長 大井龍司
会員登録
普通預金
口座番号 0097845
宮城県仙台第二高等学校同窓会
七十七銀行 芭蕉の辻支店

同窓会報

- ◇協議
- ◇議長選出
- ◇来賓紹介
- ◇大井会長

総会報

平成二十四年七月七日（土）

十六時三十分

江陽グランドホテル

出席者百三十一名

◇開会

◇物故者への黙祷

◇会長挨拶 大井会長

「会長として初めての総会を

楽しみにしていました。今後、

若い層の参加に努力していき

ます。問題点は、会員の合意

を得ながら解決していきます。

ご支援、ご協力ををお願いしま

す。」

◇学校長挨拶 渡邊校長（高26）

「母校の校長となり身の引き締まる思いです。同窓会からは、物心両面の協力をありがとうございます。」

◇来賓紹介

司会進行

江陽グランドホテル

七月七日（土）

十八時三十分

【平成二十四年度懇親会】

第一号二十三年度事業報告
奥山事務局長（高26）承認第二号二十三年度収支決算報告
鈴木得央会計理事監査報告、承認
奥山事務局長 承認第四号二十四年度収支予算案
鈴木得央会計理事 承認第五号西澤前会長の名譽会長
推戴
枠澤副会長 承認第六号会計監事の選任
三浦二郎氏（高11）留任、
犬飼健郎氏（高17）退任、
↓小関眞氏（高23）◇報告・山下健二理事の退任
大井会長・会報編集方針、発行回数の
変更 高橋教理事（高30）「会報の年二回発行から年一
回発行への変更、B5判からA4判への変更」・校内環境整備事業の進捗状
況 高橋和男理事・同窓会活性化のための諸施
策 鈴木誠一副会長（高22）

充実した展示内容となった北陵祭の同窓会ブース



充実した展示内容となった北陵祭の同窓会ブース

北陵祭で初の同窓会ブース

母校の文化祭「北陵祭」で今年、

初めて同窓会ブースを出展しまし

た。呼び掛けに応じた同窓生から

二日、来場者に披露しました。

多くの同窓生、現役生とその家

族、一般客に鑑賞してもらい、同

窓会、同窓生の存在をアピールし

ました。会場の一角では仙台二高

クリーを販売し、当日分は好評

のうちに完売しました。

早く出品してくださった同窓生

の皆さま、展示会場への搬入搬出

作業も含め、お骨折りいただき本

当にありがとうございました。ま

た、ブースを訪れ、展示を盛り上

げてくださいました同窓生の皆さま、

ありがとうございました。

①「夕日輝く西公園」（写真）	原田伸正（高5回）
②「佇まい」（絵画）	大井淨（高6回）
③「チャグチャグ馬コ」（写真）	阿部三彦（高8回）
④「八戸えんぶり」（写真）	"
⑤「コペンハーゲン・ニューハーン地区」（絵画）	奥山隆生（高8回）
⑥「芭蕉も見た風景」（絵画）	鈴木隆一郎（高8回）
⑦「奥の細道踏破隊」「イザベラ・バード著『日本奥地紀行』をたどる」（発表）	ピンピン会（高11回）
⑧「富士山の夜明け・北岳より」（写真）	西野陸治（高11回）
⑨「エヴェレストの眺望（中奥）・ナプチュ（右）」（写真）	"
⑩「仙台城の歴史」（映像）	田中於菟彦（高15回）
⑪「六華天目釉鉢」（陶芸）	岩井純（高18回）
⑫「天目結晶釉鉢」（陶芸）	"
⑬「3・11大津波に被災した畑に咲くレンゲ」（写真）	佐藤芳博（高19回）
⑭「アイルランドの風景」（写真）	木村雅文（高22回）
⑮「ラグビー部創部80周年記念」（写真）	鈴木誠一（高22回）
⑯「鎮魂の譜」（映像・写真）	佐藤祝浩（高25回）

北陵祭同窓会ブース展示作品

①「夕日輝く西公園」（写真）	原田伸正（高5回）
②「佇まい」（絵画）	大井淨（高6回）
③「チャグチャグ馬コ」（写真）	阿部三彦（高8回）
④「八戸えんぶり」（写真）	"
⑤「コペンハーゲン・ニューハーン地区」（絵画）	奥山隆生（高8回）
⑥「芭蕉も見た風景」（絵画）	鈴木隆一郎（高8回）
⑦「奥の細道踏破隊」「イザベラ・バード著『日本奥地紀行』をたどる」（発表）	ピンピン会（高11回）
⑧「富士山の夜明け・北岳より」（写真）	西野陸治（高11回）
⑨「エヴェレストの眺望（中奥）・ナプチュ（右）」（写真）	"
⑩「仙台城の歴史」（映像）	田中於菟彦（高15回）
⑪「六華天目釉鉢」（陶芸）	岩井純（高18回）
⑫「天目結晶釉鉢」（陶芸）	"
⑬「3・11大津波に被災した畑に咲くレンゲ」（写真）	佐藤芳博（高19回）
⑭「アイルランドの風景」（写真）	木村雅文（高22回）
⑮「ラグビー部創部80周年記念」（写真）	鈴木誠一（高22回）
⑯「鎮魂の譜」（映像・写真）	佐藤祝浩（高25回）

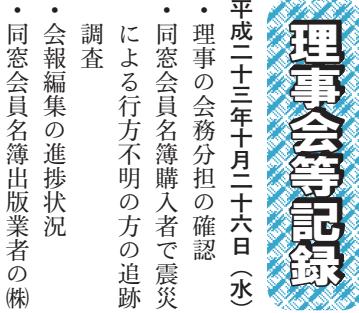
- ◇開会の辞
- ◇校歌斉唱
- ◇当番幹事代表挨拶
- ◇乾杯 深松 葉（高23）
- ◇ご慶事の紹介
- ◇全国大会出場部紹介・激励
- ◇受勲・受賞者紹介
- ◇金贈呈
- ◇応援歌 高23、35、36、47
- ◇万歳三唱
- ◇閉会の辞 首藤 雅浩（高36）
- ◇平成二十三年度第二回評議員会 平成二十三年十二月十日（土） 十時
- ◇会長挨拶 大井龍司
- ◇議長選出
- ◇議長団選出 今回から昨年の評議委員会で承認された議長団方式を採用。
- ◇本日の議長
- ◇自己紹介（全員）
- ◇協議
- ◇会長挨拶 西澤会長
- ◇議長選出
- ◇岡崎正行氏（高28）
- ◇協議
- ◇会長の弁と後任に大井龍司氏を推薦
- ◇協議事項一 新会長の選任
- 大井龍司氏を総会に推薦することを議決



- 48回応援団幹部OB
- 庄司 恒一前校長（高22）
- ◇会長挨拶 大井会長
- ◇議長団選出 今回から昨年の評議委員会で承認された議長団方式を採用。（二年任期で四名推薦）効果を検証し、会則化。（承認）
- ◇本日の議長
- 磐井裕氏（高14）
- 太田康裕氏（高31）
- ◇自己紹介（全員）
- ◇協議
- ◇会長挨拶 西澤会長
- ◇議長選出
- ◇岡崎正行氏（高28）
- ◇協議
- ◇会長の弁と後任に大井龍司氏を推薦
- ◇協議事項一 新会長の選任
- 大井龍司氏を総会に推薦することを議決

- 第一号 二十三年度事業報告（承認）
- 第二号 二十三年度収支決算（承認）
- 第三号 二十四年度事業計画案（承認）
- 第四号 二十四年度収支予算案（承認）
- 第五号 西澤前会長の名譽会長推戴
- 第六号 会計監事の選任
- 第七号 会則改正
- ①会員資格（第四条） 「会員資格の中身不明確」との指摘があり、現実の運用に合わせて明文化を図る趣旨の改正案だったが、表現と運用を更に検討することに。（第八条）
- ②評議員の複数選出制の導入（第八条） 同窓会の活性化を図るために、高62回以降は男女一名ずつ評議員を選出する改正案だったが、議決権の公平性の問題等から、多数の賛成が得られず、理事会で再検討することに。
- 第八号 会報編集方針・発行回数の変更
- ①発行回数を現行の年六月、十二月の年二回を年一回とする。
- ②紙面の大きさをB5判からA4判とする。（賛成多数で承認）
- ◇連絡・報告
- ・山下健二理事の退任
- ・校内環境整備事業の進捗状況

- 平成二十三年十一月十六日（水）
- ・評議員会の議題、資料
- ・来年度の総会、P同懇の日程
- 平成二十四年五月九日（水）
- ・平成23年度事業報告、平成24年度事業計画案
- 平成二十四年六月十三日（水）
- ・第一回評議員会の総括と総会議案の整理
- ・事務局P.C.のセキュリティ



- ・報告等
- ・新執行部体制の紹介
- ・校内環境整備事業の進捗状況
- ・二十三年度会費納入状況
- ・江尻慎太郎投手（横浜）の激励会開催
- 平成二十四年五月二十六日（土） 十時
- ◇会長挨拶 大井会長
- ◇議長団選出 今回から昨年の評議委員会で承認された議長団方式を採用。
- （二年任期で四名推薦）効果を検証し、会則化。（承認）
- ◇本日の議長
- 磐井裕氏（高14）
- 太田康裕氏（高31）
- ◇自己紹介（全員）
- ◇協議
- ◇会長挨拶 西澤会長
- ◇議長選出
- ◇岡崎正行氏（高28）
- ◇協議
- ◇会長の弁と後任に大井龍司氏を推薦
- ◇協議事項一 新会長の選任
- 大井龍司氏を総会に推薦することを議決

- ・二十三年度会費納入状況
- ・江尻慎太郎投手（横浜）の激励会開催
- 平成二十四年五月二十六日（土） 十時
- ◇会長挨拶 大井会長
- ◇議長団選出 今回から昨年の評議委員会で承認された議長団方式を採用。
- （二年任期で四名推薦）効果を検証し、会則化。（承認）
- ◇本日の議長
- 磐井裕氏（高14）
- 太田康裕氏（高31）
- ◇自己紹介（全員）
- ◇協議
- ◇会長挨拶 西澤会長
- ◇議長選出
- ◇岡崎正行氏（高28）
- ◇協議
- ◇会長の弁と後任に大井龍司氏を推薦
- ◇協議事項一 新会長の選任
- 大井龍司氏を総会に推薦することを議決

- ・二十三年度会費納入状況
- ・江尻慎太郎投手（横浜）の激励会開催
- 平成二十四年五月二十六日（土） 十時
- ◇会長挨拶 大井会長
- ◇議長団選出 今回から昨年の評議委員会で承認された議長団方式を採用。
- （二年任期で四名推薦）効果を検証し、会則化。（承認）
- ◇本日の議長
- 磐井裕氏（高14）
- 太田康裕氏（高31）
- ◇自己紹介（全員）
- ◇協議
- ◇会長挨拶 西澤会長
- ◇議長選出
- ◇岡崎正行氏（高28）
- ◇協議
- ◇会長の弁と後任に大井龍司氏を推薦
- ◇協議事項一 新会長の選任
- 大井龍司氏を総会に推薦することを議決

- ・同窓会活動活性化のための諸施策
- ・仙台一高同窓会との交流（まずは来年兩同窓会によるゴルフ対抗戦）
- ・北陵祭での同窓会ブース開設
- ・年間優秀クラブ活動の表彰（3）
- ・閉会挨拶 鈴木邦夫副会長
- ・会員資格（第四条） 「会員資格の中身不明確」との指摘があり、現実の運用に合わせて明文化を図る趣旨の改正案だったが、表現と運用を更に検討することに。（第八条）
- ・評議員の複数選出制の導入（第八条） 同窓会の活性化を図るために、高62回以降は男女一名ずつ評議員を選出する改正案だったが、議決権の公平性の問題等から、多数の賛成が得られず、理事会で再検討することに。
- ・議長団選出
- ・理事会の会務分担の確認
- ・同窓会員名簿購入者で震災による行方不明の方の追跡調査
- ・会報編集の進捗状況
- ・同窓会員名簿出版業者の（株）サラトより名簿発刊後の対応等の説明
- 平成二十四年五月九日（水）
- ・平成23年度事業報告、茶畠ゴルフクラブの対抗戦
- 平成二十四年四月九日（月）
- ・同窓会報のあり方
- ・第一回評議員会の議題整理・議長団選出
- ・臨時総会・P同懇の総括
- 平成二十四年三月十四日（水）
- ・評議員の複数選出制
- ・同窓会の活性化策
- ・評議員の複数選出制
- 平成二十四年二月八日（水）
- ・同窓会活動活性化のための諸施策
- ・山下健二理事の退任願の取り扱い
- ・西澤前会長の名譽会長推戴（校内環境整備基金への協力促進策）
- ・校内環境整備基金への協力促進策
- ・ツアーチェス
- ・同窓会総会での企画（校内ツアーチェス）
- ・同窓会総会での企画（校内ツアーチェス）

- ・ソフトの購入
 - ・会報発行最終報告
 - ・総会準備進捗状況
 - ・北陵会同窓会ブースの開設・運営
 - ・300回記念東京北杜会参 加報告 大井会長
 - ・北陵祭同窓会ブースの運営
 - ・当番回期制の徹底 事前の打ち合せ会を開催
 - ・仙台市役所北陵会参加報告
 - ・大井会長
 - 平成二十四年九月十九日（水）
北陵会同窓会ブースの運営
の総括
 - ・評議員二名制
 - ・理事の欠員補充 現状維持
 - ・全国大会に出場した部活動への激励金
 - ・岩手北陵会出席報告 奥山事務局長
 - ・在京同窓会参加報告 大井会長
 - ・宮城県庁養賢会参加報告 大井会長

校内環境整備基金について

平成二十二年度より三年間にわたり同窓生の皆様にお願いしてまいりました基金へのご協力、有難うございました。本年度が最終となり平成二十五年三月末日をもって終了と相成ります。事業の方々大分進んでおりますが、あと僅かな期間になりましたので、是非ご協力を賜りたくお願いいたします。

寄付は会報に同封の払込用紙にてお願いします。なお、払込用紙はすべての会報に同封しており、既に寄付をいただいた方にも届きますが、どうぞご容赦ください。
（環境整備委員長 高橋和男）

江崎	洋志	[高25]
御園生勇郎	明	今野
佐々木行雄	清則	小泉
佐藤修一	庄子	佐藤
中川文彦	高橋	三浦
博之幸彦	内海	[高26]
善行	陽一	伊藤行政
佐藤井	木村	百井
佐藤俊紀	佐藤	[高27]
佐藤啓二	瓶子	高野
佐藤益男	高橋	[高28]
吉明	村川	小田島周司
清	萱場	廣之
克明	後藤鶴銅	庄子
宗德	高橋淳一	佐藤
慶弘	守屋	高野
光孝	横山	木村
均	横山	佐藤
敏昭	横山	佐藤
博之	横山	佐藤
孝	横山	佐藤
泰弘	横山	佐藤
均	横山	佐藤
敏昭	横山	佐藤
博史	横山	佐藤
五十嵐健司	高31	[高32]
渡辺	高30	小野
小野	高29	齋藤
泰弘	高28	小野
均	高27	齋藤
敏昭	高26	高32
博之	高25	[高31]

佐藤	谷藤	菊地	土倉	山内	山田	結城	道広	哲久
正樹	[高33]	敦						
敦	桂島	石川	遠藤	大泉	今野	篠田	青嶋	永沼
	高橋	高橋	本多	伸光	安孫子	[高36]	阿部	阿部
	敦	敦	真也	博	孫子	[高37]	信二	揚妻
					今野	[高38]	直樹	浩
					篠田	[高36]	明典	利明
					青嶋	[高39]	篠田	和真
					大泉	[高40]	篠田	英晶
					佐藤		浩司	仁
					佐藤		浩司	玲
					佐藤		浩司	靖
					高橋		阿部	太郎
					高橋		阿部	太郎
					高城		内田	内田
					佐藤		鈴木	鈴木
					佐藤		雄太郎	雄太郎

大宮司啓文	黒澤幸治	天童亮	佐治賢哉	中村英滋	米地進	光山幸司
【高41】	【高43】	【高44】	【高46】	【高48】	【高49】	【高50】
毛塚 阿部	草野 周	早坂 太希	岩田健太郎	千葉 智彦	椎名 敬廣	岩田健太郎
【高57】	小林 里見	新沼 渥	山田 智彦	謙悟	【高51】	【高52】
浩司 大	潮田 泰人	渕上 光昭	智彦	【高50】	日出 英輔	五十嵐 哲
	資秀	【高52】	【高51】	【高52】	英輔	馬目 佑允

竹下	高58	池田	匡将
畠内	高59	加藤	佑樹
岩佐優太朗	高60	小崎	景綱
岩佐優太朗	高63	下屋	聰平
高城	航一	高橋	學
伊藤	寛基	相澤	奎
伊藤	知宏	浅野	祐一
遠藤	則史	島津	壯宏
大泉	則史	田所	速人
小野寺	溫	澤野	學
片山	あかね	馬目	脩平
小坂	徳	古崎	高廣
市來	昌冬	宗像	亮
北陵四期会	獎学会	中鉢セリナ	关口
匿名希望1件	【団体】	【団体】	【団体】

部活動の成果

運動部成績

大会名 部 名	平成23年度		平成24年度	
	新人大会等		定期戦	総合体育大会等
硬式野球部	《秋季大会》 2回戦 仙台二 0 - 7 仙台三 敗者復活戦 1回戦 仙台二 6 - 5 東北生文大高 2回戦 仙台二 7 - 0 仙台工業 決定戦 仙台二 2 - 5 仙台商業	仙台二 仙台一 6 - 7 負け 29勝29敗 9分け	第94回全国高校野球選手権大会 宮城県予選 1回戦 仙台二 2 - 1 田村 2回戦 仙台二 4 - 5 泉館山	
軟式野球部	《秋季大会》 1回戦 仙台二 2 - 1 石巻商 (延長11回) 2回戦 仙台二 0 - 5 気仙沼	仙台二 仙台一 4 - 1 勝ち	平成24年度宮城県高等学校軟式野球 春季大会 仙台二 0 - 2 (延長12回) 仙台商業 第57回全国高等学校軟式野球選手権宮城県大会 1回戦 仙台二 7 - 1 泉 2回戦 仙台二 0 - 6 気仙沼	
サッカーチーム	《新人大会》 (県ベスト16) ・地区予選 仙台二 0 - 4 聖和 仙台二 3 - 3 仙台工業 代表決定戦 仙台二 2 - 1 東北工大 ・県大会 1回戦 仙台二 2 - 0 追桜 2回戦 仙台二 0 - 4 東北学院		《総体》 ・地区予選 仙台二 1 - 0 宮城広瀬 仙台二 7 - 0 宮城高専 仙台二 3 - 1 仙台 仙台二 3 - 2 仙台向山 ・県大会 1回戦 仙台二 0 - 1 石巻	
ラグビー部	《全国高校ラグビーワールドチャレンジ大会県予選》 2回戦 仙台二 (7-40) 古川工業 《新人戦》 (石巻高校との合同) 1回戦 合同A (45-7) 気仙沼向洋 2回戦 合同A (10-22) 仙台高校		○ Aブロック (15人制: 石巻高との合同) 1回戦 合同C (5-12) 古川工業 負け ○ Bブロック (7人制) 仙台二 (0-26) 東北学院 負け 仙台二 (55-5) 合同E 勝ち 《花園大会県予選》 仙台二 (8-62) 仙台東 負け	
陸上競技部	《県新人大会》 100M 阿部 8位 200M 吉村 8位 400M 阿部 4位 吉村 5位 110MH 目黒 6位 400MH 目黒 6位 沼田 7位 5000MW 吉田 5位 宮澤 6位 400MR 堀・阿部・沼田・目黒 8位 走高跳 金原 4位 7種競技 渡邊 1位		県総体 100M 阿部耕大 6位 200M 阿部耕大 5位 吉村 梢 5位 3000M障害 高橋仙一 4位 5000MW 吉田裕太 6位 佐藤悠広 7位 1600M R 大坂・吉村・渡邊・久道 8位 走高跳 金原恵太 4位 やり投 稲村 遙 8位 7種競技 渡邊朝美 1位 東北総体 100M 阿部耕大 準予選敗退 200M 阿部耕大 準予選敗退 吉村 梢 準決勝敗退	

大会名 部 名	平成23年度		平成24年度	
	新 人 大 会 等	定期戦	総 合 体 育 大 会 等	
陸上競技部	<p>《東北新入大会》 7種競技 渡邊 1位 走高跳 金原 4位</p> <p>《全国高校駅伝予選県大会》 男子 11位 女子 15位</p>		<p>3000M障害 高橋仙一 予選敗退 走高跳 金原恵太 予選敗退 7種競技 渡邊朝美 2位（インターハイ出場）</p> <p>全国高等学校総合体育大会（インターハイ） 7種競技 渡邊朝美 22位</p> <p>県新入大会 400M 大坂桃子 8位 110MH 堀 雄貴 2位 3000m障害 鈴木亮介 8位 5000MW 佐藤悠広 2位 宮澤あづみ 7位 白井 花 8位</p> <p>東北新入大会 110MH 堀 雄貴 予選敗退 5000MW 佐藤悠広 7位</p> <p>全国高校駅伝予選県大会 男子 12位 女子 15位</p>	
ハンドボール部	<p>《ハンドボール県新人大会》（県ベスト16） 1回戦 仙台二16（前14-4/後9-12）23泉館山 2回戦 仙台二25（前12-16/後13-19）35利府</p>		平成24年度 宮城県高校総体 1回戦 仙台二26-40仙台西	
バスケットボール部	<p>《宮城県高校選手権大会》 1回戦 仙台二80-86古川工業 《県高校新人仙塩地区予選》 1次リーグ 仙台二94（14-32、33-25、17-27、30-22）106泉松陵 仙台二74（11-32、18-29、25-13、20-25）99東北</p>	仙台二 仙台一 88-65 勝ち 通算成績 33勝29敗	平成24年度 宮城県高校総体 1回戦 仙台二114-60仙台高専 2回戦 仙台二83-79志津川 3回戦 仙台二65-69聖和学園（ベスト16）	
バレーボール部	<p>《宮城県高校新人バレー ボール仙塩地区大会》 • 1次リーグ戦 仙台二 2 - 0 泉 仙台二 0 - 2 仙台育英 仙台二 0 - 2 明成</p> <p>《宮城県高校新人バレー ボール大会》 1回戦 仙台二 2 - 0 直理 2回戦 仙台二 0 - 2 明成</p> <p>《全日本バレー ボール高校選手権宮城県大会（春高バレー）》 1回戦 仙台二 2 - 0 仙台 2回戦 仙台二 0 - 2 古川工業（県ベスト8）</p> <p>《宮城県高校選手権バレー ボール大会（国体予選）》 一次予選 仙台二 2 - 0 泉 仙台二 2 - 0 仙台育英 仙台二 2 - 0 生文大 二次予選 仙台二 0 - 2 仙台三</p>	仙台二 仙台一 3 - 0 勝ち 通算成績 30勝32敗	平成24年度 宮城県高校総体 1回戦 仙台二 1 - 2 白石工	
パドミントン部	<p>《県新人大会個人戦》 男子ダブルス 太田・石川組、尾股・佐藤組、木村・須藤組 1回戦敗退</p> <p>女子ダブルス 小形・工藤組 1回戦敗退</p> <p>男子シングルス 太田 1回戦敗退</p> <p>女子シングルス 小形 1回戦敗退</p> <p>《県新人大会学校対抗戦》 男子学校対抗 1回戦 仙台二 0 - 3 仙台西 女子学校対抗 1回戦 仙台二 1 - 3 仙台二華</p>		<p>○県選手権大会 男子ダブルス 太田・石川組 3回戦進出 木村・須藤組 3回戦進出</p> <p>男子シングルス 須藤 3回戦進出</p> <p>女子シングルス 小形 4回戦進出</p> <p>○県総体個人対抗戦 男子ダブルス 太田紘貴・石川 周組 3回戦進出（ベスト64） 木村 恒・須藤孝介組 2回戦進出</p> <p>男子シングルス 太田紘貴 3回戦進出（ベスト64）</p> <p>女子ダブルス 小形恵理・工藤理沙組 3回戦進出（ベスト64）</p> <p>女子シングルス 小形恵理 3回戦進出（ベスト64） 川端泉穂 2回戦進出</p> <p>○県総体学校対抗戦 男子学校対抗戦 1回戦 仙台二 3 - 1 築館 2回戦 仙台二 2 - 3 東北生文大高</p> <p>女子学校対抗戦 1回戦 仙台二 3 - 2 直理 2回戦 仙台二 2 - 3 宮城広瀬</p>	
テニス部	<p>《県新人大会》 • 団体の部 男子 1回戦 仙台二 2 - 3 仙台一 1回戦敗退 女子 1回戦 仙台二 5 - 0 仙台南 2回戦 仙台二 3 - 2 常磐木 3回戦 仙台二 1 - 3 仙台三 ベスト8</p>		<p>県選手権大会 男子ダブルス 太田・石川組 3回戦進出 木村・須藤組 3回戦進出</p> <p>男子シングルス 須藤 3回戦進出</p> <p>女子シングルス 小形 4回戦進出</p> <p>日下萌奈 ベスト32</p> <p>鈴木優希 ベスト32</p>	

大会名 部名	平成23年度		平成24年度	
	新入大会等		定期戦	総合体育大会等
テニス部	<p>・個人の部</p> <p>男子シングルス 鎌倉 4回戦進出 神宮 4回戦進出 菅原 2回戦進出 宮本 1回戦敗退</p> <p>女子シングルス 蔡 ベスト16 鈴木 4回戦進出 須藤 4回戦進出 吉田 2回戦進出</p> <p>男子ダブルス 岡田・良元 1回戦敗退 玉木・三浦 1回戦敗退 酒井・千葉 1回戦敗退</p> <p>女子ダブルス 蔡・鈴木 ベスト8 山内・藤村 2回戦進出 熊谷・宮川 2回戦進出</p>			<p>須藤香那恵 ベスト32 山内亜紀 ベスト64 藤村知佳 ベスト64 蔡絵里子・鈴木優希 ベスト16</p> <p>ダブルス女子</p> <p>男子 一回戦：仙台二 2-0 加美農 二回戦：仙台二 2-0 仙台育英 準々決勝：仙台二 1-2 仙台向山(ベスト8) 女子 一回戦：仙台二 1-2 泉館山</p>
ソフトテニス部	<p>《県新人大会》</p> <p>団体戦 2回戦 仙台二 2-0 仙台西 3回戦 仙台二 0-2 東北学院</p> <p>個人戦 1回戦 小田島・赤間 4-3 小牛田農 中島・姉歵 4-1 ウルスラ 2回戦 小田島・赤間 4-3 仙台西 中島・姉歵 1-4 仙台商 3回戦 小田島・赤間 0-4 東北 ベスト32</p>			<p>平成24年度 宮城県高校総体</p> <p>男子団体 1回戦 仙台二 3-0 石巻 2回戦 仙台二 0-2 白石工</p> <p>男子個人 2回戦 下山・姉歵 1-4 仙台商業 3回戦 中島・日野 3-4 大河原商業 4回戦 小田島・赤間 1-4 東北(ベスト32)</p>
水泳・水球部	<p>〈競泳〉</p> <p>県新人(2011.9.16~18 グランディ21サブプール)</p> <p>男子 総合 3位(63点)</p> <p>200M自由形 1位 嶺岸 大知 400M自由形 2位 嶺岸 大知 200M個人メドレー 4位 菅原 大貴 400Mメドレーリレー 4位</p> <p>樺尾泰斗、五十嵐祐樹、菅原大貴、嶺岸大知 以上、東北新人大会へ(10月21,22日 山形県鶴岡市) 入賞</p> <p>男子 100M背泳ぎ 7位 樺尾 泰斗 200M背泳ぎ 6位 樺尾 泰斗 200M背泳ぎ 7位 三田 海人 100M平泳ぎ 6位 五十嵐祐樹 200M平泳ぎ 5位 五十嵐祐樹 400M個人メドレー 8位 菅原 大貴 400Mリレー 5位 樺尾泰斗、菅原大貴、三田北斗、嶺岸大知 800Mリレー 4位 嶺岸大知、菅原大貴、三田海人、樺尾泰斗 (8:15.52 県高校新記録)</p> <p>女子 400Mリレー 8位 佐々木慶、山川莉奈、高橋史衣、今田彩音</p> <p>〈水球〉</p> <p>震災のため開催せず</p>			<p>〈競泳〉</p> <p>平成24年度 宮城県高校総体</p> <p>男子総合 4位</p> <p>200M自由形 嶺岸 4位 東北大会出場 400M自由形 嶺岸 3位 東北大会出場 100M平泳ぎ 菅原 8位 東北大会出場 200M平泳ぎ 菅原 8位 東北大会出場 400M自由形 佐々木 7位 東北大会出場 1500M自由形 佐々木 4位 東北大会出場 400Mリレー 3位 東北大会出場 800Mリレー 4位 東北大会出場 400Mメドレーリレー 5位 東北大会出場</p> <p>平成24年度 東北高校総体</p> <p>1500M自由形 佐々木 決勝25位 200M自由形 嶺岸 予選16位 400M自由形 嶺岸 予選25位 100M平泳ぎ 菅原 予選32位 200M平泳ぎ 菅原 予選33位 400M自由形 佐々木 予選34位 400Mリレー 予選15位 800Mリレー 予選20位 400Mメドレーリレー 予選16位</p> <p>〈水球〉</p> <p>24年度宮城県総体</p> <p>決勝 仙台二 1-20 柴田 東北総体 兼 インターハイ予選 第4位 (5チーム中)</p>
卓球部	<p>《平成23年度宮城県高等学校新人卓球大会仙塩地区予選》</p> <p>男子シングルス 佐藤・佐久間・阿部・星・三浦 県大会出場</p> <p>男子ダブルス 佐藤・三浦 第1位 佐久間・阿部 県大会出場</p> <p>男子団体 決勝トーナメント 仙台二 3-0 学院櫻ヶ岡 仙台二 3-2 東北学院 仙台二 3-2 東北 仙塩地区 第1位</p> <p>《平成23年度宮城県高等学校新人卓球大会》</p> <p>男子ダブルス 1回戦 佐藤・三浦 3-2 佐々木・菅原(古川学園) 佐久間・阿部 1-3 寺田・熊谷(追桜) 2回戦 佐藤・三浦 3-1 本藤・相澤(石巻商) 3回戦 佐藤・三浦 3-1 川田・鈴木(東北学院) 4回戦 佐藤・三浦 3-0 三野宮・岩淵(追桜) 決勝 佐藤・三浦 3-1 モンタニヨ・鈴木(東北学院) 優勝</p> <p>男子団体 2回戦 仙台二 3-0 仙台工 3回戦 仙台二 3-0 小牛田農 4回戦 仙台二 3-0 聖和</p>			<p>平成24年度宮城県高等学校総合体育大会 (6.3~5 泉総合運動場体育館)</p> <p>男子学校対抗 2回戦 仙台二 3-0 多賀城 3回戦 仙台二 3-1 1泉 4回戦 仙台二 3-0 石巻商 準決勝 仙台二 2-3 古川学園 第3位</p> <p>男子ダブルス 2回戦 佐藤泰・佐藤悠 3-1 菅原・小原(東北) 3回戦 佐藤泰・佐藤悠 3-2 土田・鈴木(古川学園) 準決勝 佐藤泰・佐藤悠 3-2 本藤・相澤(石巻商) 決勝 佐藤泰・佐藤悠 3-2 川畠・古内(古川学園) 優勝</p> <p>男子シングルス 1回戦 星 3-0 小川(気仙沼向洋) 佐藤悠 3-0 熊谷(追桜) 中塩 0-3 菅野(東北) 5回戦 三浦 1-3 古内(古川学園) 佐藤泰 3-0 佐々木(古川学園) 佐藤悠 2-3 菅原(古川学園) 6回戦 佐藤泰 3-0 鈴木(古川学園) 準決勝 佐藤泰 3-2 武田(聖和)</p>

部名	大会名	平成23年度 新人大会等	定期戦	平成24年度 総合体育大会等																																																	
卓球部	<p>準決勝 仙台二 1 - 3 追桜 第3位 代表決定戦 仙台二 2 - 3 東北学院 男子シングルス</p> <table> <tr><td>1回戦 阿部</td><td>3 - 2 佐藤(岩ヶ崎)</td></tr> <tr><td>2回戦 星</td><td>3 - 0 神澤(石巻工業)</td></tr> <tr><td>佐藤</td><td>3 - 0 門間(石巻北)</td></tr> <tr><td>佐久間</td><td>3 - 0 大橋(白石工業)</td></tr> <tr><td>三浦</td><td>3 - 0 川端(追桜)</td></tr> <tr><td>阿部</td><td>1 - 3 古内(古川学園)</td></tr> <tr><td>3回戦 星</td><td>0 - 3 相澤(古川工業)</td></tr> <tr><td>佐藤</td><td>3 - 0 上部(涌谷)</td></tr> <tr><td>佐久間</td><td>3 - 0 赤間(利府)</td></tr> <tr><td>三浦</td><td>3 - 1 内ヶ崎(古川学園)</td></tr> <tr><td>4回戦 佐久間</td><td>0 - 3 川田(東北学院) ベスト32</td></tr> <tr><td>三浦</td><td>3 - 1 布田(東北)</td></tr> <tr><td>佐藤</td><td>3 - 1 斎藤(古川学園)</td></tr> <tr><td>5回戦 三浦</td><td>2 - 3 若瀬(追桜) ベスト16</td></tr> <tr><td>佐藤</td><td>3 - 0 山家(柴田)</td></tr> <tr><td>6回戦 佐藤</td><td>3 - 2 相澤(石巻商)</td></tr> <tr><td>準決勝 佐藤</td><td>2 - 3 川畑(古川学園) 第3位</td></tr> </table> <p>《第64回東京卓球選手権大会宮城県予選会》 男子ジュニア</p> <table> <tr><td>2回戦 佐藤</td><td>3 - 0 庄子(聖和学園)</td></tr> <tr><td>3回戦 佐藤</td><td>3 - 1 熊谷(追桜)</td></tr> <tr><td>4回戦 佐藤</td><td>3 - 1 菅原(古川学園)</td></tr> <tr><td>5回戦 佐藤</td><td>3 - 2 相澤(古川工業)</td></tr> <tr><td>県代表決定戦 佐藤</td><td>3 - 1 三野宮(追桜) 宮城県代表として全国大会出場</td></tr> </table> <p>《平成23年度全日本卓球選手権大会》 男子シングルス</p> <table> <tr><td>1回戦 佐藤</td><td>1 - 3 太嶋(信号器材・神奈川)</td></tr> <tr><td>ジュニア男子</td><td></td></tr> <tr><td>1回戦 佐藤</td><td>0 - 3 卯木(愛工大名電高)</td></tr> </table>	1回戦 阿部	3 - 2 佐藤(岩ヶ崎)	2回戦 星	3 - 0 神澤(石巻工業)	佐藤	3 - 0 門間(石巻北)	佐久間	3 - 0 大橋(白石工業)	三浦	3 - 0 川端(追桜)	阿部	1 - 3 古内(古川学園)	3回戦 星	0 - 3 相澤(古川工業)	佐藤	3 - 0 上部(涌谷)	佐久間	3 - 0 赤間(利府)	三浦	3 - 1 内ヶ崎(古川学園)	4回戦 佐久間	0 - 3 川田(東北学院) ベスト32	三浦	3 - 1 布田(東北)	佐藤	3 - 1 斎藤(古川学園)	5回戦 三浦	2 - 3 若瀬(追桜) ベスト16	佐藤	3 - 0 山家(柴田)	6回戦 佐藤	3 - 2 相澤(石巻商)	準決勝 佐藤	2 - 3 川畑(古川学園) 第3位	2回戦 佐藤	3 - 0 庄子(聖和学園)	3回戦 佐藤	3 - 1 熊谷(追桜)	4回戦 佐藤	3 - 1 菅原(古川学園)	5回戦 佐藤	3 - 2 相澤(古川工業)	県代表決定戦 佐藤	3 - 1 三野宮(追桜) 宮城県代表として全国大会出場	1回戦 佐藤	1 - 3 太嶋(信号器材・神奈川)	ジュニア男子		1回戦 佐藤	0 - 3 卯木(愛工大名電高)		<p>決勝 佐藤泰 3 - 2 川畑(古川学園) 優勝 女子学級対抗 2回戦 仙台二 0 - 3 志津川 平成24年度東北高等学校卓球選手権大会(6.21~24 山形県総合運動公園体育館) 男子ダブルス 2回戦 佐藤泰・佐藤悠 1 - 3 鈴木・松澤(青森山田) 男子シングルス 2回戦 佐藤泰 0 - 3 藤田哲(鶴岡東) 第67回 国民体育大会 宮城県予選会 少年男子第1位 佐藤泰 東北総合体育大会(ミニ国体)出場決定 平成24年度東北総合体育大会(8.24~26男鹿市) 佐藤泰 出場 平成24年度全国高等学校総合体育大会(7.31~8.5 長野市ホワイトリング) 男子ダブルス 1回戦 佐藤泰・佐藤悠 0 - 3 今井・林(滝川第二) 男子シングルス 1回戦 佐藤泰 0 - 3 河辺(近大新宮)</p>
1回戦 阿部	3 - 2 佐藤(岩ヶ崎)																																																				
2回戦 星	3 - 0 神澤(石巻工業)																																																				
佐藤	3 - 0 門間(石巻北)																																																				
佐久間	3 - 0 大橋(白石工業)																																																				
三浦	3 - 0 川端(追桜)																																																				
阿部	1 - 3 古内(古川学園)																																																				
3回戦 星	0 - 3 相澤(古川工業)																																																				
佐藤	3 - 0 上部(涌谷)																																																				
佐久間	3 - 0 赤間(利府)																																																				
三浦	3 - 1 内ヶ崎(古川学園)																																																				
4回戦 佐久間	0 - 3 川田(東北学院) ベスト32																																																				
三浦	3 - 1 布田(東北)																																																				
佐藤	3 - 1 斎藤(古川学園)																																																				
5回戦 三浦	2 - 3 若瀬(追桜) ベスト16																																																				
佐藤	3 - 0 山家(柴田)																																																				
6回戦 佐藤	3 - 2 相澤(石巻商)																																																				
準決勝 佐藤	2 - 3 川畑(古川学園) 第3位																																																				
2回戦 佐藤	3 - 0 庄子(聖和学園)																																																				
3回戦 佐藤	3 - 1 熊谷(追桜)																																																				
4回戦 佐藤	3 - 1 菅原(古川学園)																																																				
5回戦 佐藤	3 - 2 相澤(古川工業)																																																				
県代表決定戦 佐藤	3 - 1 三野宮(追桜) 宮城県代表として全国大会出場																																																				
1回戦 佐藤	1 - 3 太嶋(信号器材・神奈川)																																																				
ジュニア男子																																																					
1回戦 佐藤	0 - 3 卯木(愛工大名電高)																																																				
フェンシング部	<p>宮城県新人大会</p> <table> <tr><td>男子個人対抗フルーレ</td><td>第8位 黒澤俊樹</td></tr> <tr><td>男子学校対抗</td><td>第3位 (黒澤・菊地・藤原・工藤)</td></tr> </table> <p>宮城県選抜選手権大会(1/14,15)</p> <table> <tr><td>団体《フルーレ男子》</td><td>第3位 (黒澤俊樹、菊地雄太、藤原路大、工藤章太郎)</td></tr> <tr><td>個人《エペ男子》</td><td>第4位 菊地雄太</td></tr> <tr><td>《サーブル女子》</td><td>第2位 元井初音</td></tr> </table>	男子個人対抗フルーレ	第8位 黒澤俊樹	男子学校対抗	第3位 (黒澤・菊地・藤原・工藤)	団体《フルーレ男子》	第3位 (黒澤俊樹、菊地雄太、藤原路大、工藤章太郎)	個人《エペ男子》	第4位 菊地雄太	《サーブル女子》	第2位 元井初音		<p>県総体</p> <table> <tr><td>男子団体フルーレ</td><td>第2位 (東北大会出場) (黒澤俊樹、藤原路大、尾形 優、菊地雄太、工藤章太郎)</td></tr> <tr><td>1回戦</td><td>V-2 (利府), 準決勝: V-4 (気仙沼), 決勝: 1-V (仙台高)</td></tr> <tr><td>男子個人フルーレ</td><td>準決勝進出 萱場佑樹</td></tr> <tr><td>男子個人エペ</td><td>第2位 孫 祖文(東北大会出場)</td></tr> <tr><td>男子個人サーブル</td><td>第2位 工藤章太郎 (東北大会出場)</td></tr> </table> <p>女子団体フルーレ 1回戦敗退 (元井初音、熊谷星良、島倉奈緒子)</p> <table> <tr><td>1回戦</td><td>4 - V (仙台一高)</td></tr> <tr><td>女子個人フルーレ</td><td>第6位 元井初音</td></tr> <tr><td>女子個人サーブル</td><td>第1位 元井初音 (インターハイ、東北大会出場)</td></tr> <tr><td>男子個人サーブル</td><td>第2位 工藤章太郎 (東北大会出場)</td></tr> </table> <p>東北大会</p> <table> <tr><td>男子団体フルーレ</td><td>1回戦 仙台二 0 - V 秋田北鷹</td></tr> <tr><td>男子個人エペ</td><td>第3位 孫 祖文</td></tr> <tr><td>男子個人サーブル</td><td>ベスト12 工藤章太郎</td></tr> <tr><td>女子個人サーブル</td><td>第8位 元井初音</td></tr> </table> <p>インター・ハイ(8/1~5 富山県富山市) 女子個人サーブル 予選ブール敗退(1勝3敗) 元井初音</p>	男子団体フルーレ	第2位 (東北大会出場) (黒澤俊樹、藤原路大、尾形 優、菊地雄太、工藤章太郎)	1回戦	V-2 (利府), 準決勝: V-4 (気仙沼), 決勝: 1-V (仙台高)	男子個人フルーレ	準決勝進出 萱場佑樹	男子個人エペ	第2位 孫 祖文(東北大会出場)	男子個人サーブル	第2位 工藤章太郎 (東北大会出場)	1回戦	4 - V (仙台一高)	女子個人フルーレ	第6位 元井初音	女子個人サーブル	第1位 元井初音 (インターハイ、東北大会出場)	男子個人サーブル	第2位 工藤章太郎 (東北大会出場)	男子団体フルーレ	1回戦 仙台二 0 - V 秋田北鷹	男子個人エペ	第3位 孫 祖文	男子個人サーブル	ベスト12 工藤章太郎	女子個人サーブル	第8位 元井初音														
男子個人対抗フルーレ	第8位 黒澤俊樹																																																				
男子学校対抗	第3位 (黒澤・菊地・藤原・工藤)																																																				
団体《フルーレ男子》	第3位 (黒澤俊樹、菊地雄太、藤原路大、工藤章太郎)																																																				
個人《エペ男子》	第4位 菊地雄太																																																				
《サーブル女子》	第2位 元井初音																																																				
男子団体フルーレ	第2位 (東北大会出場) (黒澤俊樹、藤原路大、尾形 優、菊地雄太、工藤章太郎)																																																				
1回戦	V-2 (利府), 準決勝: V-4 (気仙沼), 決勝: 1-V (仙台高)																																																				
男子個人フルーレ	準決勝進出 萱場佑樹																																																				
男子個人エペ	第2位 孫 祖文(東北大会出場)																																																				
男子個人サーブル	第2位 工藤章太郎 (東北大会出場)																																																				
1回戦	4 - V (仙台一高)																																																				
女子個人フルーレ	第6位 元井初音																																																				
女子個人サーブル	第1位 元井初音 (インターハイ、東北大会出場)																																																				
男子個人サーブル	第2位 工藤章太郎 (東北大会出場)																																																				
男子団体フルーレ	1回戦 仙台二 0 - V 秋田北鷹																																																				
男子個人エペ	第3位 孫 祖文																																																				
男子個人サーブル	ベスト12 工藤章太郎																																																				
女子個人サーブル	第8位 元井初音																																																				
剣道部	<p>《仙塩支部新人戦》</p> <table> <tr><td>男子団体戦</td><td>予選リーグ 対仙台東 3 - 2 で勝ち 対宮城広瀬 1 - 2 で勝ち</td></tr> <tr><td></td><td>予選リーグ1位</td></tr> <tr><td>決勝トーナメント</td><td>1回戦 対仙台工業 2 - 1 で勝ち</td></tr> <tr><td>準々決勝</td><td>対仙台三 0 - 4 で負け</td></tr> </table> <p>女子団体戦</p> <table> <tr><td>予選リーグ</td><td>対仙台二華 0 - 4 で負け 対仙台南 2 - 1 で勝ち</td></tr> <tr><td></td><td>予選リーグ2位</td></tr> <tr><td>決勝トーナメント</td><td>1回戦 対仙台向山 3 - 0 で勝ち</td></tr> <tr><td>準々決勝</td><td>対仙台 0 - 5 で負け</td></tr> </table> <p>《宮城県高等学校剣道新人大会》</p> <table> <tr><td>男子団体戦</td><td>予選リーグ 対仙台南 2 - 1 で負け 対東陵 0 - 5 で負け</td></tr> <tr><td></td><td>予選敗退</td></tr> <tr><td>女子団体戦</td><td>予選リーグ 対佐沼 1 - 2 で勝ち</td></tr> </table>	男子団体戦	予選リーグ 対仙台東 3 - 2 で勝ち 対宮城広瀬 1 - 2 で勝ち		予選リーグ1位	決勝トーナメント	1回戦 対仙台工業 2 - 1 で勝ち	準々決勝	対仙台三 0 - 4 で負け	予選リーグ	対仙台二華 0 - 4 で負け 対仙台南 2 - 1 で勝ち		予選リーグ2位	決勝トーナメント	1回戦 対仙台向山 3 - 0 で勝ち	準々決勝	対仙台 0 - 5 で負け	男子団体戦	予選リーグ 対仙台南 2 - 1 で負け 対東陵 0 - 5 で負け		予選敗退	女子団体戦	予選リーグ 対佐沼 1 - 2 で勝ち		<p>平成24年度 宮城県高校総体</p> <table> <tr><td>男子団体</td><td>予選リーグ</td></tr> <tr><td>1回戦</td><td>仙台二 4 - 0 大崎中央</td></tr> <tr><td>2回戦</td><td>仙台二 3 - 0 多賀城</td></tr> <tr><td>3回戦</td><td>仙台二 1 - 3 東北</td></tr> </table> <p>女子団体</p> <table> <tr><td>予選リーグ</td><td></td></tr> <tr><td>1回戦</td><td>仙台二 2 - 1 仙台西</td></tr> <tr><td>2回戦</td><td>仙台二 1 - 3 仙台三</td></tr> </table>	男子団体	予選リーグ	1回戦	仙台二 4 - 0 大崎中央	2回戦	仙台二 3 - 0 多賀城	3回戦	仙台二 1 - 3 東北	予選リーグ		1回戦	仙台二 2 - 1 仙台西	2回戦	仙台二 1 - 3 仙台三														
男子団体戦	予選リーグ 対仙台東 3 - 2 で勝ち 対宮城広瀬 1 - 2 で勝ち																																																				
	予選リーグ1位																																																				
決勝トーナメント	1回戦 対仙台工業 2 - 1 で勝ち																																																				
準々決勝	対仙台三 0 - 4 で負け																																																				
予選リーグ	対仙台二華 0 - 4 で負け 対仙台南 2 - 1 で勝ち																																																				
	予選リーグ2位																																																				
決勝トーナメント	1回戦 対仙台向山 3 - 0 で勝ち																																																				
準々決勝	対仙台 0 - 5 で負け																																																				
男子団体戦	予選リーグ 対仙台南 2 - 1 で負け 対東陵 0 - 5 で負け																																																				
	予選敗退																																																				
女子団体戦	予選リーグ 対佐沼 1 - 2 で勝ち																																																				
男子団体	予選リーグ																																																				
1回戦	仙台二 4 - 0 大崎中央																																																				
2回戦	仙台二 3 - 0 多賀城																																																				
3回戦	仙台二 1 - 3 東北																																																				
予選リーグ																																																					
1回戦	仙台二 2 - 1 仙台西																																																				
2回戦	仙台二 1 - 3 仙台三																																																				

大会名 部名	平成23年度	平成24年度	
	新入大会等	定期戦	総合体育大会等
剣道部	男子個人戦 佐藤 4回戦進出（ベスト16） 向田 初戦敗退 女子個人戦 関川 2回戦進出 湯山 2回戦進出	対仙台三3-1で負け 予選敗退	
柔道部	県新人大会 60kg級 松本 遥 一回戦敗退 柴田諒介 ベスト16 県総体シード権獲得 全国柔道選手権 宮城県大会 60kg級 柴田諒介 ベスト8	4人勝ち抜き戦・ 4分 二人残し負け 通算成績 50勝64敗 4引分け	団体戦 予選リーグ 敗退 仙台二2-3志津川 仙台二1-4村田 個人戦 60kg級 3228松元 遥 予選トーナメント敗退 66kg級 3518柴田諒介 予選トーナメント敗退 81kg級 2611河野大空見 予選トーナメント敗退 81kg級 1540山田晃誠 予選トーナメント敗退
弓道部	《新人大会》 団体男子（榎本・星・小林・新妻・岡田・篠坂・山並） 1次予選 20射12中で46校中4位通過 2次予選 20射9中 計40射20中で12位通過 準々決勝 20射8中 計60射28中で不通過 団体女子 (羽生・高野・陶木・池田・姉崎・橋本・諸隈) 1次予選 20射10中で43校中6位通過 2次予選 20射5中 計40射15中で16位通過 準々決勝 20射6中 計60射26中で不通過		平成24年度 宮城県高校総体 男子団体 一次予選通過 二次予選敗退 女子団体 一次予選通過 二次予選敗退
山岳部	《新人大会》 第4位		平成24年度 宮城県高校総体 4位
ヨット部	《県新人大会》 男子 FJ級ソロ競技 ・1503艇（鈴木・伊藤組） 優勝		<p>■県総体（七ヶ浜町小浜港） ○男子 FJ級デュエット競技 第3位 ○男子 FJ級ソロ競技 　・1751艇（鈴木・伊藤組） 　・1503艇（山田・菊地組） →東北大会出場権獲得 第2位 →東北大会出場権獲得 第10位 ○女子 FJ級デュエット競技 ○女子 FJ級ソロ競技 　・1558艇（櫻田・大庭・大久保組） 第2位 →東北大会出場権獲得 第4位 →東北大会出場権獲得</p> <p>■東北大会（山形県鶴岡市） ○男子 FJ級デュエット競技 第9位 ○男子 FJ級ソロ競技 　・1751艇（鈴木・伊藤組） 　・1503艇（山田・菊地組） 第12位 ○女子 FJ級デュエット競技 ○女子 FJ級ソロ競技 　・1558艇（櫻田・大庭・大久保組） 第6位 →東北大会出場権獲得 第13位</p> <p>■国体予選 ○少年男子セーリングスピリット級 　・鈴木 伊藤組 第3位 ○少年男子シーホッパー級SR 　・鈴木 第1位 →岐阜国体出場権獲得！ ■第67回国民体育大会セーリング競技（愛知県蒲郡市） ○少年男子シーホッパー級SR 　・鈴木 第22位</p> <p>■県新人大会（七ヶ浜町小浜港） ○男子 FJ級ソロ競技 　・1503艇（山田・菊地組） 第7位 ○女子 FJ級ソロ競技 　・1558艇（櫻田・大久保・大庭・石橋組） 優勝</p>
スキー部	○第61回宮城県高等学校総合体育大会スキー競技会 平成24年1月12日(木)～15日(日) 男子 GSL 第16位 阿部紘平 男子 SL 第16位 阿部紘平 ○第51回宮城県高等学校スキー新人大会 平成24年3月16日(金)～18日(日) 男子 GSL 第17位 阿部紘平 男子 SL 第12位 阿部紘平		
自転車 (個人参加)			平成24年度 宮城県高校総体 学校対抗 5位 ロード 4位 トラック 5位

部活動の成果

学芸部成績(平成24年10月まで)

部名	成績	部名	成績
化学生	<p>第19回 全国高等学校デザイン選手権大会 『Healthy Helper』丹野・澤田</p> <p>英国ケンブリッジ・サイエンスワークショップ 参加者 阿隅・桃野</p> <p>第21回 青少年のための科学の祭典2012 全国大会 『銅（I）水酸化物と光沢銅樹の生成～その銅樹、ちゃんと光ってますか！！～』 大村・針生</p> <p>化学グランプリ2012 全国大会 銀賞 工藤 銅賞 桃野</p> <p>全国高校化学グランプリ2012 東北支部長賞 鈴木 潤（東北10位内）</p> <p>第56回読売学生科学賞 →中央審査（全国大会）に出品 最優秀賞（仙台市長賞） 「アジサイの不思議 Part3」山中美慧</p> <p>第2回 科学の甲子園宮城県大会 優勝（団体）→3月末の全国大会へ出場（NHK放送予定）</p>	物理部	<p>学都「仙台・宮城」サイエンスディ2012 「身近な物を使った物理の実験」</p> <p>東北大工学部情報知能システム総合学科高校教育賞受賞</p> <p>第36回全国高等学校総合文化祭 自然科学部門 文化連盟賞受賞 「ドップラー効果の検証実験」 佐藤堯彰、田所優和、及川瑞稀 サイエンスフェスティバル（仙台市青葉区中央市民センター）出展</p>
生物部	<p>第65回宮城県高等学校 英語弁論大会 第1位 古内 東北大会出場</p>	英語部	<p>第63回宮城県合唱祭 参加</p> <p>第79回NHK全国高校音楽コンクール宮城県大会出場</p>
地学部	<p>第65回宮城県高等学校生徒理科研究発表会 「河川における自然浄化作用についての研究」 横内、横道、吉田、只野、大倉、安室、杉田、佐藤、相馬</p>	合唱部	<p>第9回宮城県学校対抗バンド合戦新人大会 奨励賞（ベスト5）</p>
美術部	<p>第63回 仙台市内高等学校美術展 美研賞 大島</p>	囲碁部	<p>第36回 全国高校囲碁選手権大会 宮城県大会 男子団体 1位 全国大会出場 個人 藤岡 1位 全国大会出場</p> <p>第36回 全国高校囲碁選手権大会 男子団体 藤岡・今野・千田 3位 個人 藤岡 1勝2敗にて敗退</p> <p>第36回 全国高等学校総合文化祭 団体 準優勝 宮城県（仙台二伊藤） 個人 16位 藤岡</p> <p>第48回学生十傑戦東北大会 (10月13~14日・北上市・大学生大学院生中心の大会) 14位 千田涉太 15位 今野律人 29位 牧野 泰</p>
写真部	<p>第18回宮城県高等学校写真展 銅賞 「のやき」 鈴木雄大 入選 「秋曇り」 鈴木雄大 「秋色賛歌」 泉 佑季 佳作 「勝利にかけるそれぞれの思い」 伊藤 耀</p>		<p>第13回宮城県高校囲碁九路盤大会（10/19 仙二高北陵館） 1位 今野律人 7位 千田涉太</p> <p>第26回東北地区高等学校囲碁選手権大会 (11/9~10福島県飯坂温泉) 男子団体出場 (宮城県代表チーム 副将 千田涉太 三将 今野律人)</p>
吹奏楽部	<p>第45回アンサンブルコンテスト宮城県大会予選 仙台青葉地区大会 クラリネット8重奏 金賞 サクソフォン5重奏 金賞 木管3重奏 銀賞 金管8重奏 銀賞 打楽器3重奏 金賞</p> <p>第6回青葉プラスフェスティバル演奏</p> <p>第25回定期演奏会（東京エレクトロンホール宮城）</p> <p>全日本吹奏楽コンクール 宮城県大会予選 仙台青葉・泉地区大会 高等学校の部 銀賞 審査員特別賞</p> <p>定禅寺ストリートジャズフェスティバル エコボランティアとして参加</p> <p>「秋の青少年健全育成キャンペーン」セレモニー演奏</p>	将棋部	<p>第48回 全国高校将棋選手権大会 個人男子 2勝2敗（決勝トーナメント進出ならず） 渡邊 個人女子 優勝 成田</p> <p>第48回 全国高校将棋選手権大会 宮城県予選会 個人男子 準優勝 渡邊 個人女子 優勝 成田</p>
放送部	<p>NHK杯全国放送コンテスト宮城県大会 朗読部門 予選 石井、佐伯、丹野、安室</p> <p>宮城県高等学校放送コンテスト新人大会 朗読部門 予選 石井、佐伯、安室</p>	その他	<p>第32回 全国高等学校クイズ選手権大会 宮城県大会 岩淵・奥山・高野 優勝 全国大会出場</p> <p>第2回 日本短歌大会（東北） 宮城県芸術協会賞 後藤 優秀作品 青山 佳作作品 栗田 宮澤 箭川</p> <p>第47回国際理解に関する弁論大会 宮城県知事賞 高橋綾香 宮城県教育委員会教育長賞 足沢優佳</p> <p>第59回国際理解・国際協力のための高校生の主張コンクール中央大会 全国人権擁護委員連合会会长賞 高橋綾香</p>

フエンシング部 インターハイを目指す ということ

県総体優勝。それは、県で一枚だけの、女子サーブル種目でのインハイ出場権の獲得。悲願達成の瞬間だった。

昨年、先輩が惜しくもトロフィーを逃したとき、まるで自分のことのように悔しさを感じた。同学年の女子部員がいなかつた私にとって、先輩たちはとても特別な存在で、目標であり仲間でもあった。それから私は、サーブルでのインハイ出場を目標とするようになつた。しかし当時の私は、種目を変えるようコーチに勧められる程サーブルが下手だった。だから、フルーレ種目で出場した先輩方について行つた昨年のインターハイで、サーブルの試合を見た時、愕然とした。剣は見えず、試合の流れを把握することさえ難しかつた。その頃はインターハイなんて無謀な目標だと思つていた。上達はとても遅かつた。けれども諦めたりはせず、小さいことから一つ一つできるようにしていった。そして今年のインターハイ。

県で優勝しインターハイに出場することが最大にして最後の目標だった私は、結果はどうあれ、二年半の部活の縮めくくりとして恥ずかしくない試合をしよう、とだけ考えて臨んだ。実際試合をしてみると予想していたのとは違い、

全てではないにしろ、昨年は雲の上の存在だった『インターハイ選手』の劍にも対応することができ、しっかりと試合をすることができたのだ。結果だけ見れば、一勝しかできず予選敗退、とひどいものだが、私なりに満足のいく試合ができた。嬉しかった。

私がこうして最後の最後までフエンシングを続け、楽しむことができたのはひとえに、私のことを支えてくださったたくさんの人々のおかげである。色々なことを教えてくれた先輩方、切磋琢磨した同輩たち、共に戦い、時に心強かった後輩たち、励ましてくれた友人、そして、御指導下さった須田先生、加畑コーチ、佐藤コーチ、OB・OGの皆さん、サポートして下さった奥山先生、正樹先生、本当にありがとうございました。

全国大会を通して 田畠部

今年の夏、私たちは東京と富山で行われた開幕の全国大会に出場した。今回はそこで感じたことについて書こうと思う。

まず第一に、月並みではあるが、団結することの大しさだ。多くの人が疑問を持った通り、たとえ団体戦であっても開幕は個人競技で、まして話し合う等は許されない。しかし、完全に独立してるのでなく、仲間が負けそだかに頑張ろう、といった心的要因にはなりうる。むしろ、結果という点では、個人のミス(=負け)がチームに与える影響は大きい。つまり、普段の部活の時から親密な関係を築くことが大切なだろう。

そうすることによって、勝てたときの喜びは数倍にもなり、また、負けたときの悲しみも減らすことができると思う。第二に、今さらではあるが開幕の魅力に気づかされた。今までは、より強くなることによりがいを感じていたが、今回も相手と交流する等、改めてすばらしさを感じました。

じ、まだ始めて間もない頃の感覚を取り戻した気がした。第三には、やはり勝負事であるので、悔しさについて書きたいと思う。結論からいえば、今回の大会での敗けは今まで一番といえる程の悔しさだった。それは負け方といふ事もあるが、内心で開幕は今年で一区切りつけよう、と思っていたからだ。しかし、

そう腹を括っていざ蓋を開けてみると、どうも煮えきらないう感じ、空虚感さえ感じてしまう。こうやって考えると、開幕が自分の中に占めていたウェイトは大きかったのだ、と感じさせられた。

今後はこの夏の経験、悔しさを様々な所に活かしていくたい。受験など大きな山場もあるが、絶対乗り越えて、第一志望に合格しようと思う。

最後になりましたが、平素からお世話になっている家族や顧問の尚先生、とりわけ友達や部活のみんなには、心から感謝を申し上げます。

陸上競技。それは私の青春そのものであった。中学から始めて七種競技という種目に出会い、私はその魅力に引き込まれていった。走って、跳んで、投げて。そのどこが楽しいのか、とよく聞かれるが、分からぬ。しかし、ただそれだけのことを全力でしているのが言いようもなく楽しく、最高の幸せであった。そしてそれは共に練習し、戦つた仲間の存在があつたからこそのことだったと思う。切磋琢磨し、どんな時も励まし合ってきた。スランプだった時、仲間の力強い言葉に何度も救

て、二度目のインターハイで赤なトラックに立った。そして最後の七種競技を戦った。

今シーズン、春先から私はスランプに陥っていた。走れない。身体が動かない。もうインターハイなど無理なのではないかと何度も思った。な

われた。そして更には最後の
インターハイ、遠い新潟の地
まで応援に駆けつけてくれた
のだ。不甲斐ない結果で終わ
り悔しさはあったが、その仲
間の笑顔に出迎えられて、そ
れは大きな充実感や達成感へ
と変わった。自分がどれだけ
支えられてきたか。私の陸上
競技生活は皆と創り上げてき
たのだと強く思った。

私は弱かつた。井の中の蛙だった。だからこそ、陸上競技はまだまだやめられない。少しでも高みを目指して、懲りずに挑戦し続けたい。

最後にありがとうございました。三登
間いつも熱い心を向けてくだ
さった黒崎先生、見守ってく
ださいた二階堂先生、小竹先
生、そして共に戦ってきた陸
上部の皆、幸せな時間を、本
当にありがとうございました。

三年五組 佐藤 泰史
僕は仙台二高卓球部として初の団体優勝を、そしてダブルス、シングルスの三冠を目指して県総体に臨んだ。

メンバーでもある部員が骨折したのだった。厳しい状況で総体を迎えることとなつた。初めはダブルス。フルセットの接戦を三試合乗り越え優勝。次は団体。順調に準決勝まで勝ち上がり、第一シードの古川学園との対戦。一番二番を接戦の末に勝ち、勝負のダブルスへ。最後の最後で僕のミスが続き敗戦。そのまま四番五番も負けてしまい三位。最後のシングルス。マッチポイントを取られたりもしたが、運も味方し何とか優勝。目標は達成できなかつた。団体で負けた後は次の日のシングルスを考えるのも嫌だつたけれど、多くの人に明日は優勝だ、と言われて頑張れた。また、大会を通して皆の応援がとても力になつた。骨折という大きなハンデがあつてもそれ以上に応援からもらうパワーは大きかった。校長先生を初めとする先生方、二高卓球部の皆、話したことのない他の学校の人達、親、多くの人達の応援は辛くて諦めてしまいそうな状況でも頑張る力を与えてくれた。本当にありがとうございました。

ハイ、そしてミニ国体へと出場したが思うような結果は残せなかつた。それでもベストを尽くすことはでき、また多くの経験ができたので良かつたと思う。

これから的人生、受験はじめ、多くの試練が自分を待ち構えていると思う。自分だけで頑張るのではなく、周囲の人たちの力ももらい、一つ乗り越えていきたい。

生物部

サイエンスワークショップに参加して

三年七組 横内 達

今年の七月、私と化学部の桃野、阿隅の三人は、イギリスのケンブリッジ大学でサイエンスワークショップに参加させて頂きました。私たち他にも東北各地や関西地方から、そしてイギリス各地から多くの高校生が参加し、ケンブリッジ大学での最先端の研究の体験や、文化交流などの貴重な経験ができました。

今回の研修全体を通して、私の身の周りは完全に知らなかつたことだらけでした。今回人生初の海外研修だったので、イギリスの街並みや人々との交流も大変真新しく感じました。

た。また英語については、学校であれだけ勉強したのだから会話ぐらいできるはずだと思つていた私は甘かったと申します。学校での英語学習は単なる知識の集積に過ぎず、その実用は全く別物だということを思い知らされました。

当然、ケンブリッジ大学での研究はそれら以上に未知なる物でした。参加者は別々の班に分かれてそれぞれの研修を行い、私の班では藻の研究について扱いました。その頃私は学校の授業で光合成について習ったばかりで、ある程度の自信を持って研修に臨んだのですが、実際に触れた内容は全く聞いたことのない、極めて深くハイレベルなものでした。研修を終えた時、「たかが藻にこんな世界があつたのか。」と思わずにはいられませんでした。

今回の研修に参加する前の私は、「イギリスぐらいテレビで見て知っている。英語も科学も学校で人並みに勉強している。」というように、様々な物を脳内で自己完結させ、知つたつもりになっていたとう思います。そして今自分がいる場所から動こうとしま

せんでした。この研修でイギリス、ケンブリッジといった広い世界に直に触れたことで、この世界は想像以上に知らなすことだらけだということに意味で、この経験は私の人生を大きく変えることになるだろうと思います。

最後に、このような素晴らしい機会を与えて下さった皆さんに、心より感謝申し上げます。

大会前日、本番同様に行われた練習レースのこと。レース練習が少なかった私にとっては、他の選手との力の差を経験したことのない感覚を味わった。全国大会の舞台で上位を走る爽快感。正直本番でないのが惜しかったが、これまでの中で最高のレースが出来たのは嬉しかった。

国体を終えて振り返ってみると、本当に内容の濃い充実した大会だったなと感じる。私はこの大会、さらにはここに至るまでの過程において、本当にたくさんの経験をすることができた。ヨット競技の楽しさ、勝ったときの喜び、思うように力が發揮できなかつたときの悔しさ、満足いく結果が得られたときの達成感。これら全ての経験は私の糧となり、これからに生かされていくに違いない。

私がここまで来れたのは本当にたくさん人の支えがあったからこそだ。三年間お世話になりました天野先生、様々なサポートをして下さった慎二先生、木村先生、たくさんのご支援、ご指導下さったO

Bの方々、切磋琢磨してきた部活動の仲間、そして陰ながら応援してくれた両親、今まで支えて下さった全ての皆様に心より感謝申し上げます。

ありがとうございました。
（平成24年10月分まで）

会員訃報

7 / 21	7 / 13	6 / 10	6 / 20	5 / 17	3 / 6	平成23年	12 / 22	12 / 3	8 / 14	3 / 1	平成22年	6 / 1	平成14年	9 / 25	金沢直太郎殿	中36回	
畔田	斎藤	平形	加藤洋一郎殿	丸山	植村	森	成田	佐藤	白根沢成文殿	金崎	一條	長谷	新津	長谷	哲夫殿	高4回	
長嗣殿	肇殿	哲雄殿	忠義殿	泰殿	嚴殿	治雄殿	治夫殿	郁夫殿	修一殿	清殿	安隆殿	陽造殿	高4回	42回	41回	39回	
高9回	中43回	中47回	高9回	高10回	高10回	高12回	高4回	中45回	高10回	高4回	高10回	高4回	高4回	42回	41回	39回	
5 / 20	5 / 16	5 / 15	5 / 8	4 / 29	4 / 28	4 / 26	4 / 11	3 / 30	3 / 4	3 / 26	2 / 15	1 / 31	1 / 29	1 / 16	12 / 12	11 / 9	
伊藤	遠藤	鈴木	鈴木	黒田	藤原道	平塚	鎌田	鈴木	畠中	鈴木	近江	船山	千葉	千葉	佐藤	松山	横山
順夫殿	延安殿	憲二殿	勇殿	秀殿	孝殿	正策殿	周行殿	泰殿	輝雄殿	正也殿	和彦殿	守郎殿	和彦殿	16回	16回	16回	16回
中35回	高20回	高47回	高4回	高26回	中31回	中37回	中41回	中41回	中37回	中41回	28回	45回	45回	45回	45回	45回	45回

次号の原稿締め切りは平成二十五年四月二十日（土）です。今号で紹介した通り、平成二十五年度から会報は年一回発行となります。同窓会事務室まで奮って原稿をお寄せください。

「燃ゆる血潮」の情報で、作詞をした先輩とお話しする機会を得、貴重な証言から会報の記事を作ることができました。寄稿は、あの日を思い起こし、瞳に涙ませながら目を通してくださり、大変心強く感じました。「大震災に立ち向かう」への寄稿は、あとの日を思い出します。各地の同窓会が呼応してください、「各地の活動を紹介してください」とお葉書を出したところ、各地の同窓会が呼応してください、「各地の活動を紹介してください」とお葉書を出したところ、各地の同窓会が呼応してください、「各地の活動を紹介してください」とお葉書を出したところ、各地の同窓会が呼応してください、「各地の活動を紹介してください」とお葉書を出したところ、各地の同窓会が呼応してください、「各地の活動を紹介してください」とお葉書を出したところ、各地の同窓会が呼応してください、「各地の活動を紹介してください」とお葉書を出したところ、各地の同窓会が呼応してください、「各地の活動を紹介してください」とお葉書を出したところ、各地の同窓会が呼応してください、「各地の活動を紹介してください」とお葉書を出したところ、各地の同窓会が呼応してください、「各地の活動を紹介してください」とお葉書を出したところ、各地の同窓会が呼応してください、「各地の活動を紹介してください」とお葉書を出したところ、各地の同窓会が呼応してください、「各地の活動を紹介してください」とお葉書を出したところ、各地の同窓会が呼応してください、「各地の活動を紹介してください」とお葉書を出したところ、各地の同窓会が呼応してください、「各地の活動を紹介してください」とお葉書を出したところ、各地の同窓会が呼応してください、「各地の活動を紹介してください」とお葉書を出したところ、各地の同窓会が呼応ください。



二高への交通の便

<仙台駅前から>

►仙台市営バス・・仙台駅前バスプール16番から730、739系統『二高・県美術館前』下車、運賃180円

►仙台市営市内観光循環バス『るーぶる仙台』・・仙台駅前バスプール15-3番、運賃（1回券）250円、（1日券）600円。但し、瑞鳳殿、大橋、青葉山、八幡神社等を大きく経由してから二高前に到達、但し、目下の所大震災による道路損傷の為、大橋—青葉城間は迂回ルートを経由。

（理事 高橋 敦）

編集後記